

別添資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報(平成 24 年度)

資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報 資料目次

1. 債務返済の状況

平成 24 年度の資金調達の状況	1
債務返済計画と実績の対比（総括表）	3
債務返済計画と実績の対比	5
全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成 25 年度（2013 年度）期首の債務残高の計画と実績の対比	26
高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況	27

2. 財務諸表のセグメント情報

高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・損益計算書）	28
高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・貸借対照表）	30
高速道路機構のセグメント情報（損益計算書）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	32
高速道路機構のセグメント情報（貸借対照表）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	33
高速道路会社連結損益計算書一覧	34
高速道路会社連結貸借対照表一覧	35
高速道路機構と高速道路会社を合わせた資産と債務の状況	36
高速道路機構と高速道路会社を合わせた債務の状況の推移	37
営業中高速道路の路線別資産額	38

3. 高速道路収支関連情報

高速道路の収支率（試算値）	45
路線別営業収支差（高速道路会社情報の総括）	46
金利の路線別配賦（試算値）	51

4. 建設・維持・管理の状況

建設コストの計画と実績	58
管理コストの計画と実績（高速道路会社情報の総括）	61
アウトカム指標の計画と実績（高速道路会社情報の総括）	62

5. 道路資産の保有及び貸付状況

道路資産保有及び貸付状況（総括表）	65
-------------------	----

平成 24 年度の資金調達状況

政府保証債

年限	回号	発行日	発行額	利率	発行価額
10年	第161回	平成24年4月24日	1,500億円	0.977%	100円
	第163回	平成24年5月22日	1,500億円	0.901%	100円
	第166回	平成24年6月19日	1,500億円	0.895%	100円
	第168回	平成24年7月18日	1,500億円	0.839%	100円
	第170回	平成24年8月16日	1,500億円	0.801%	100円
	第173回	平成24年9月19日	1,500億円	0.819%	100円
	第175回	平成24年10月19日	1,500億円	0.791%	100円
	第177回	平成24年11月15日	1,500億円	0.805%	100円
	第180回	平成24年12月18日	1,500億円	0.734%	100円
	第182回	平成25年1月23日	1,500億円	0.834%	100円
	第184回	平成25年2月20日	1,500億円	0.815%	100円
	第186回	平成25年3月19日	1,860億円	0.668%	100円
	計			1兆8,360億円	0.820%
20年	第162回	平成24年4月26日	300億円	1.737%	100円
	第164回	平成24年5月24日	300億円	1.675%	100円
	第167回	平成24年6月22日	300億円	1.670%	100円
	第169回	平成24年7月23日	300億円	1.634%	100円
	第171回	平成24年8月17日	300億円	1.560%	100円
	第174回	平成24年9月24日	300億円	1.641%	100円
	第176回	平成24年10月25日	300億円	1.645%	100円
	第178回	平成24年11月20日	300億円	1.680%	100円
	第181回	平成24年12月20日	300億円	1.660%	100円
	第183回	平成25年1月30日	300億円	1.726%	100円
	第185回	平成25年2月25日	300億円	1.757%	100円
	第187回	平成25年3月25日	300億円	1.662%	100円
	計			3,600億円	1.671%
30年	第165回	平成24年5月30日	300億円	1.830%	100円
	第172回	平成24年8月21日	300億円	1.919%	100円
	第179回	平成24年11月26日	300億円	1.944%	100円
計			900億円	1.898%	
合計			2兆2,860億円	0.997%	

注) 利率の計は、加重平均で表示しています。

財投機関債

年限	回号	発行日	発行額	利率	発行価額
4年	第85回	平成24年4月25日	300億円	0.278%	100円
	第88回	平成24年6月26日	300億円	0.205%	100円
	第91回	平成24年7月23日	300億円	0.160%	100円
	第94回	平成24年9月24日	300億円	0.197%	100円
	第99回	平成24年12月21日	300億円	0.210%	100円
	計			1,500億円	0.210%
10年	第84回	平成24年4月25日	300億円	1.010%	100円
	第86回	平成24年5月30日	300億円	0.934%	100円
	第87回	平成24年6月26日	300億円	0.893%	100円
	第90回	平成24年7月23日	300億円	0.816%	100円
	第92回	平成24年8月17日	300億円	0.834%	100円
	第93回	平成24年9月24日	300億円	0.829%	100円
	第96回	平成24年10月24日	300億円	0.796%	100円
	第97回	平成24年11月20日	300億円	0.765%	100円
	第98回	平成24年12月21日	300億円	0.770%	100円
	第100回	平成25年1月25日	300億円	0.784%	100円
	第101回	平成25年2月22日	300億円	0.781%	100円
	第102回	平成25年3月21日	300億円	0.666%	100円
	計			3,600億円	0.823%
20年	第83回	平成24年4月25日	300億円	1.900%	100円
	第89回	平成24年7月23日	200億円	1.711%	100円
	第95回	平成24年10月24日	200億円	1.773%	100円
	計			700億円	1.810%
合計			5,800億円	0.784%	
総計			2兆8,660億円	0.953%	

注) 利率の計、合計及び総計は、加重平均で表示しています。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

[高速道路機構]

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路	一の路線
未償還残高(平成24年度期首)							
計画(A)	354,437	234,344	50,819	35,915	1,558	31,442	358
実績(B)	353,991	234,045	50,824	35,892	1,581	31,341	308
差額(B)-(A)	△ 447	△ 298	5	△ 23	22	△ 101	△ 51
債務残高(平成24年度期首)							
計画(A)	302,089	214,795	41,150	29,409	1,100	15,276	358
実績(B)	301,648	214,497	41,154	29,386	1,129	15,175	308
差額(B)-(A)	△ 440	△ 298	5	△ 23	29	△ 101	△ 51
有利子借入金^{注1)}							
計画(A)	296,865	214,795	37,823	29,338	1,100	13,451	358
実績(B)	296,425	214,497	37,828	29,314	1,129	13,350	308
差額(B)-(A)	△ 440	△ 298	5	△ 23	29	△ 101	△ 51
社会資本借入金							
計画(A)	3,398	0	3,326	71	0	0	0
実績(B)	3,398	0	3,326	71	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,826	0	0	0	0	1,826	0
実績(B)	1,826	0	0	0	0	1,826	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
出資金							
計画(A)	52,349	19,549	9,670	6,506	458	16,166	0
実績(B)	52,342	19,549	9,670	6,506	452	16,166	0
差額(B)-(A)	△ 6	0	0	0	△ 6	0	0
会社からの引受け債務							
計画(A)	22,609	19,068	1,648	1,783	1	83	24
実績(B)	16,139	14,018	1,539	540	1	37	3
差額(B)-(A)	△ 6,470	△ 5,051	△ 1,099	△ 1,244	0	△ 46	△ 21
有利子借入金							
計画(A)	21,252	18,578	1,349	1,216	1	83	24
実績(B)	15,323	13,528	1,219	534	1	37	3
差額(B)-(A)	△ 5,929	△ 5,051	△ 130	△ 682	0	△ 46	△ 21
社会資本借入金							
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,357	490	299	567	0	0	0
実績(B)	816	490	320	6	0	0	0
差額(B)-(A)	△ 541	0	21	△ 561	0	0	0
収入							
計画(A)	17,280	12,115	2,421	1,616	52	1,016	60
実績(B)	18,154	13,028	2,421	1,532	18	1,084	71
差額(B)-(A)	874	913	0	△ 84	△ 34	68	10
賃付料							
計画(A)	15,545	11,709	2,015	1,302	52	406	60
実績(B)	16,525	12,617	2,015	1,323	18	480	71
差額(B)-(A)	980	909	0	21	△ 34	74	10
占用料等[※]							
計画(A)	150	32	8	108	0	1	0
実績(B)	50	36	9	3	0	1	0
差額(B)-(A)	△ 100	5	0	△ 105	0	0	0
出資金等[※]							
計画(A)	1,584	374	397	205	0	608	0
実績(B)	1,579	374	397	205	0	603	0
差額(B)-(A)	△ 5	0	0	0	0	△ 5	0
支出							
計画(A)	5,297	3,369	992	658	33	236	9
実績(B)	5,665	3,648	1,031	710	19	249	8
差額(B)-(A)	368	279	39	52	△ 14	13	△ 1
管理費等[※]							
計画(A)	△ 241	△ 266	24	△ 20	2	16	2
実績(B)	63	△ 35	31	40	1	22	3
差額(B)-(A)	303	231	7	60	△ 2	6	2
支払利息							
計画(A)	4,562	3,261	571	473	31	220	7
実績(B)	4,626	3,309	603	465	18	227	4
差額(B)-(A)	64	48	32	△ 8	△ 13	7	△ 3
無利子貸付金							
計画(A)	976	374	397	205	0	0	0
実績(B)	976	374	397	205	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
収支差							
計画(A)	11,982	8,746	1,429	958	19	780	51
実績(B)	12,489	9,380	1,390	821	△ 1	835	63
差額(B)-(A)	506	634	△ 39	△ 137	△ 20	55	12
未償還残高(平成25年度期首)^{注2)}							
計画(A)	364,917	244,176	51,136	36,378	1,541	31,354	331
実績(B)	358,029	238,193	51,050	35,809	1,582	31,146	248
差額(B)-(A)	△ 6,888	△ 5,983	△ 87	△ 569	42	△ 207	△ 84
債務残高(平成25年度期首)							
計画(A)	311,358	224,627	41,070	29,667	1,082	14,579	331
実績(B)	304,482	218,644	40,983	29,098	1,130	14,378	248
差額(B)-(A)	△ 6,876	△ 5,983	△ 87	△ 569	48	△ 202	△ 84
有利子借入金							
計画(A)	306,733	224,627	38,157	29,607	1,082	12,928	331
実績(B)	299,857	218,644	38,070	29,038	1,130	12,726	248
差額(B)-(A)	△ 6,876	△ 5,983	△ 87	△ 569	48	△ 202	△ 84
社会資本借入金							
計画(A)	2,973	0	2,913	60	0	0	0
実績(B)	2,973	0	2,913	60	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,652	0	0	0	0	1,652	0
実績(B)	1,652	0	0	0	0	1,652	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
出資金							
計画(A)	53,559	19,549	10,066	6,711	458	16,774	0
実績(B)	53,547	19,549	10,066	6,711	452	16,769	0
差額(B)-(A)	△ 12	0	0	0	△ 6	△ 5	0

注1) 高速道路利便増進事業に関する計画の見直しに伴い承継債務の移動を行っている。

注2) 平成25年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

〔高速道路会社6社〕

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網				首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路	一の路線	
		東日本高速道路株 中日本高速道路株 西日本高速道路株	東日本高速道路株	中日本高速道路株	西日本高速道路株	首都高速道路株	阪神高速道路株	阪神高速道路株	本四高速道路株	中日本高速道路株 西日本高速道路株	
新たな資産形成に係らない部分	収入(料金収入)										
	計画(A)	21,412	16,301	6,045	4,764	5,493	2,668	1,717	71	569	86
	実績(B)	22,595	17,373	6,529	5,001	5,843	2,685	1,755	36	648	98
	差額(B)-(A)	1,184	1,072	484	237	351	17	38	△ 35	79	12
	支出(計画管理費)										
	計画(A)	5,866	4,593	1,755	1,296	1,542	652	414	19	162	26
	実績(B)	6,055	4,800	1,821	1,373	1,606	641	406	15	167	25
	差額(B)-(A)	188	208	67	77	64	△ 12	△ 8	△ 3	5	△ 1
	貸付料支払い										
計画(A)	15,545	11,709	4,290	3,468	3,950	2,015	1,302	52	406	60	
実績(B)	16,525	12,617	4,714	3,658	4,246	2,015	1,323	18	480	71	
差額(B)-(A)	980	909	424	190	296	0	21	△ 34	74	10	
新たな資産形成に係る部分	収入										
	計画(A)	18,946	14,958	4,607	6,352	3,999	2,217	1,661	1	83	26
	実績(B)	9,019	6,757	1,524	3,391	1,842	1,197	1,001	1	53	9
	差額(B)-(A)	△ 9,927	△ 8,201	△ 3,083	△ 2,961	△ 2,157	△ 1,020	△ 660	0	△ 30	△ 17
	有利子借入金										
	計画(A)	17,970	14,584	4,233	6,352	3,999	1,821	1,456	1	83	26
	実績(B)	8,042	6,383	1,150	3,391	1,842	801	796	1	53	9
	差額(B)-(A)	△ 9,927	△ 8,201	△ 3,083	△ 2,961	△ 2,157	△ 1,020	△ 660	0	△ 30	△ 17
	無利子借入金等										
	計画(A)	976	374	374	0	0	397	205	0	0	0
	実績(B)	976	374	374	0	0	397	205	0	0	0
	差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出										
	計画(A)	18,946	14,958	4,607	6,352	3,999	2,217	1,661	1	83	26
	実績(B)	10,005	7,746	1,888	3,886	1,971	1,253	937	1	59	9
	差額(B)-(A)	△ 8,941	△ 7,212	△ 2,719	△ 2,465	△ 2,028	△ 964	△ 724	0	△ 24	△ 17
	新設・改築費等										
	計画(A)	15,642	12,142	3,363	5,651	3,128	2,003	1,497	0	0	0
	実績(B)	8,040	6,114	1,077	3,534	1,503	1,079	847	0	0	0
	差額(B)-(A)	△ 7,602	△ 6,028	△ 2,286	△ 2,117	△ 1,624	△ 924	△ 650	0	0	0
	修繕費等										
	計画(A)	1,655	1,242	461	335	445	175	129	1	83	25
	実績(B)	1,488	1,156	361	336	460	173	90	1	59	9
	差額(B)-(A)	△ 167	△ 85	△ 100	0	14	△ 2	△ 39	0	△ 24	△ 16
	災害復旧費										
	計画(A)	1,649	1,575	784	365	426	39	35	0	0	1
	実績(B)	477	475	451	16	8	1	0	0	1	0
差額(B)-(A)	△ 1,173	△ 1,099	△ 333	△ 349	△ 418	△ 38	△ 35	0	1	△ 1	
債務											
計画(A)	24,327	18,659	5,390	8,222	5,048	4,121	1,543	0	0	3	
実績(B)	20,608	15,104	3,586	7,086	4,433	3,356	2,089	0	51	7	
差額(B)-(A)	△ 3,719	△ 3,555	△ 1,804	△ 1,136	△ 615	△ 765	546	0	51	3	
債務残高(平成24年度期首)											
計画(A)	27,990	22,770	3,567	15,598	3,604	3,552	1,666	0	0	2	
実績(B)	27,728	22,365	3,430	15,470	3,465	3,698	1,628	0	35	1	
差額(B)-(A)	△ 262	△ 405	△ 137	△ 128	△ 139	146	△ 38	0	35	△ 1	
機構への引き渡し債務											
計画(A)	22,609	19,068	2,785	13,728	2,555	1,648	1,783	1	83	24	
実績(B)	16,139	14,018	1,369	11,776	873	1,539	540	1	37	3	
差額(B)-(A)	△ 6,470	△ 5,051	△ 1,416	△ 1,952	△ 1,682	△ 109	△ 1,244	0	△ 46	△ 21	
有利子借入金											
計画(A)	21,252	18,578	2,295	13,728	2,555	1,349	1,216	1	83	24	
実績(B)	15,323	13,528	879	11,776	873	1,219	534	1	37	3	
差額(B)-(A)	△ 5,929	△ 5,051	△ 1,416	△ 1,952	△ 1,682	△ 130	△ 682	0	△ 46	△ 21	
社会資本借入金											
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無利子借入金											
計画(A)	1,357	490	490	0	0	299	567	0	0	0	
実績(B)	816	490	490	0	0	320	6	0	0	0	
差額(B)-(A)	△ 541	0	0	0	0	21	△ 561	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【全国路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	23,434,385	23,404,538	△ 29,847	
債務残高(平成24年度期首)	21,479,520	21,449,673	△ 29,847	
有利子借入金 ^{注2)}	21,479,520	21,449,673	△ 29,847	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による前年度までの引受け債務の減
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	1,954,865	1,954,865	0	
会社からの引受け債務	1,906,837	1,401,777	△ 505,060	
有利子借入金	1,857,816	1,352,756	△ 505,060	・スマートIC及び災害復旧に係わる引受け債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・新設・改築事業において、開通が平成25年度にずれ込んだことや本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	49,021	49,021	0	
収入	1,211,479	1,302,815	91,336	
貸付料	1,170,860	1,261,727	90,867	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	3,170	3,638	469	
出資金等 [※]	37,449	37,449	△ 0	
支出	336,880	364,810	27,930	
管理費等 [※]	△ 26,622	△ 3,503	23,118	・貸付料の増、引受け債務の減に伴う還付消費税の減による管理費等の増 ・資金調達額増による支払利息の増
支払利息	326,052	330,864	4,812	
無利子貸付金	37,449	37,449	△ 0	
収支差	874,599	938,005	63,406	
未償還残高(平成25年度期首)	24,417,602	23,819,289	△ 598,313	
債務残高(平成25年度期首)	22,462,737	21,864,424	△ 598,313	
有利子借入金	22,462,737	21,864,424	△ 598,313	・引受け債務の減、管理費等の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	1,954,865	1,954,865	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 高速道路利便増進事業に関する計画の見直しに伴い承継債務の移動を行っている。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【全国路線網】

(高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等)[東日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	604,468	652,866	48,398	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	175,461	182,127	6,666	
	貸付料支払い	429,007	471,361	42,354	
新たな資産形成に係る部分	収入	460,749	152,449	△ 308,300	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	423,300	115,000	△ 308,300	
	無利子借入金等	37,449	37,449	△ 0	
	支出	460,749	188,824	△ 271,925	・スマートICの新設・改築費及び災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減 ・東日本大震災の影響に伴う支出時期見直し等による修繕費の減
	新設・改築費等	336,298	107,652	△ 228,646	
	修繕費等	46,101	36,118	△ 9,983	
	災害復旧費	78,350	45,054	△ 33,296	
	債務	538,970	358,571	△ 180,399	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成24年度期首)	356,743	342,998	△ 13,745	
	機構への引き渡し債務	278,522	136,876	△ 141,646	
	有利子借入金	229,501	87,855	△ 141,646	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	49,021	49,021	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等)[中日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	476,380	500,097	23,717	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	129,564	137,305	7,741	
	貸付料支払い	346,816	365,770	18,954	
新たな資産形成に係る部分	収入	635,183	339,122	△ 296,061	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	635,183	339,122	△ 296,061	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	635,183	388,646	△ 246,537	・スマートICの新設・改築費及び災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減
	新設・改築費等	565,123	353,444	△ 211,679	
	修繕費等	33,538	33,559	21	
	災害復旧費	36,522	1,643	△ 34,879	
	債務	822,197	708,552	△ 113,645	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成24年度期首)	1,559,802	1,546,981	△ 12,821	
	機構への引き渡し債務	1,372,788	1,177,551	△ 195,237	
	有利子借入金	1,372,788	1,177,551	△ 195,237	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道西宮線等)(西日本高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成部分	収入(料金収入)	549,281	584,334	35,053	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	154,244	160,614	6,370	
	貸付料支払い	395,037	424,597	29,560	
新たな資産形成に係る部分	収入	399,882	184,161	△ 215,721	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	399,882	184,161	△ 215,721	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	399,882	197,124	△ 202,758	・スマートICの新設・改築費及び災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減
	新設・改築費等	312,761	150,335	△ 162,425	
	修繕費等	44,529	45,965	1,436	
	災害復旧費	42,592	823	△ 41,769	
	債務	504,773	443,310	△ 61,463	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成24年度期首)	360,418	346,499	△ 13,919	
	機構への引き渡し債務	255,527	87,350	△ 168,177	
	有利子借入金	255,527	87,350	△ 168,177	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(東日本高速道路株、中日本高速道路株、西日本高速道路株) [単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)
に新たな資産形成部分	収入(料金収入)	1,630,129	1,737,297	107,168
	支出(計画管理費)	459,269	480,046	20,777
	貸付料支払い	1,170,860	1,261,727	90,867
新たな資産形成に係る部分	収入	1,495,814	675,732	△ 820,082
	有利子借入金	1,458,364	638,283	△ 820,081
	無利子借入金等	37,449	37,449	△ 0
	支出	1,495,814	774,594	△ 721,220
	新設・改築費等	1,214,182	611,431	△ 602,751
	修繕費等	124,168	115,642	△ 8,526
	災害復旧費	157,464	47,520	△ 109,944
	債務	1,865,940	1,510,433	△ 355,507
	債務残高(平成24年度期首)	2,276,963	2,236,478	△ 40,485
	機構への引き渡し債務	1,906,837	1,401,777	△ 505,060
	有利子借入金	1,857,816	1,352,756	△ 505,060
	社会資本借入金	0	0	0
無利子借入金	49,021	49,021	0	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【首都高速道路に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	5,081,923	5,082,388	465	
債務残高(平成24年度期首)	4,114,971	4,115,436	465	
有利子借入金	3,782,343	3,782,808	465	・新設・改築事業における、工事工程の見直し等による前年度までの引受け債務の増
社会資本借入金	332,628	332,628	0	
出資金	966,952	966,952	0	
会社からの引受け債務	164,832	153,906	△ 10,926	
有利子借入金	134,902	121,920	△ 12,982	・災害復旧に係わる引受け債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	29,930	31,986	2,056	・新設・改築事業における、工事工程の見直しに伴う引受け時期見直し等による増
収入	242,070	242,103	33	
貸付料	201,545	201,545	0	
占用料等 [※]	841	874	33	
出資金等 [※]	39,684	39,684	0	
支出	99,207	103,091	3,884	
管理費等 [※]	2,447	3,119	672	・引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増
支払利息	57,076	60,287	3,211	
無利子貸付金	39,684	39,684	0	
収支差	142,863	139,013	△ 3,850	
未償還残高(平成25年度期首) ^{注2)}	5,113,646	5,104,979	△ 8,667	
債務残高(平成25年度期首)	4,107,010	4,098,343	△ 8,667	
有利子借入金	3,815,687	3,807,021	△ 8,666	・引受け債務の減、管理費等の増等
社会資本借入金	291,323	291,323	△ 0	
出資金	1,006,636	1,006,636	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成25年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【首都高速道路に係る地域路線網】

〔首都高速道路株〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	266,780	268,517	1,737	・計画に比べ、ETC利用率が低かったこと等による収入の増 ・クレジットカード手数料の減等による支出の減
	支出(計画管理費)	65,235	64,076	△ 1,159	
	貸付料支払い	201,545	201,545	0	
新たな資産形成に係る部分	収入	221,741	119,741	△ 102,000	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	182,057	80,057	△ 102,000	
	無利子借入金等	39,684	39,684	0	
	支出	221,741	125,327	△ 96,414	・関係機関との協議調整及び工事工程の見直しに伴う支出時期の見直し等による新設・改築費等の減 ・災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離
	新設・改築費等	200,303	107,910	△ 92,393	
	修繕費等	17,535	17,344	△ 191	
	災害復旧費	3,903	73	△ 3,830	
	債務	412,124	335,612	△ 76,512	・前年度までの工事工程見直し等による増
	債務残高(平成24年度期首)	355,215	369,777	14,562	
	機構への引き渡し債務	164,832	153,906	△ 10,926	
	有利子借入金	134,902	121,920	△ 12,982	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	29,930	31,986	2,056	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	3,591,507	3,589,170	△ 2,337	
債務残高(平成24年度期首)	2,940,910	2,938,573	△ 2,337	
有利子借入金	2,933,760	2,931,423	△ 2,337	・修繕事業における、補修実施時期の見直しによる前年度までの引受け債務の減
社会資本借入金	7,149	7,149	0	
出資金	650,597	650,597	0	
会社からの引受け債務	178,349	53,990	△ 124,360	
有利子借入金	121,606	53,386	△ 68,220	・災害復旧に係わる引受け債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・新設・改築事業における開通が平成25年度にずれ込んだことによる減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	56,743	603	△ 56,140	
収入	161,586	153,155	△ 8,431	
貸付料	130,237	132,318	2,081	・淀川左岸線の用地買戻し収入を、計画上、平成24年度に一括計上していることによる乖離等
占用料等※	10,849	337	△ 10,512	
出資金等※	20,500	20,500	0	
支出	65,811	71,036	5,225	
管理費等※	△ 1,966	4,037	6,003	・引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増
支払利息	47,278	46,499	△ 778	
無利子貸付金	20,500	20,500	0	
収支差	95,775	82,119	△ 13,656	
未償還残高(平成25年度期首) ^{注2)}	3,637,838	3,580,937	△ 56,901	
債務残高(平成25年度期首)	2,966,741	2,909,840	△ 56,901	
有利子借入金	2,960,723	2,903,822	△ 56,901	・引受け債務の減、管理費等の増等
社会資本借入金	6,018	6,018	△ 0	
出資金	671,097	671,097	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成25年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額(B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	171,685	175,483	3,798	・計画に比べ、ETC利用率が低かったこと等による収入の増 ・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	41,448	40,634	△ 814	
	貸付料支払い	130,237	132,318	2,081	
新たな資産形成に係る部分	収入	166,066	100,104	△ 65,962	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	145,566	79,604	△ 65,962	
	無利子借入金等	20,500	20,500	0	
	支出	166,065	93,655	△ 72,410	・工事工程の見直し等による新設・改築費等の減 ・複数年度工期設定に伴う支出時期見直し等による修繕費等の減 ・災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離
	新設・改築費等	149,706	84,672	△ 65,034	
	修繕費等	12,909	8,983	△ 3,926	
	災害復旧費	3,450	0	△ 3,450	
	債務	154,314	208,945	54,631	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成24年度期首)	166,597	162,831	△ 3,766	
	機構への引き渡し債務	178,349	53,990	△ 124,360	
	有利子借入金	121,606	53,386	△ 68,220	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	56,743	603	△ 56,140	・災害復旧に係わる引き渡し債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離 ・新設・改築事業における開通が平成25年度にずれ込んだこと等による減	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	155,825	158,052	2,227	
債務残高(平成24年度期首)	109,998	112,857	2,859	
有利子借入金	109,998	112,857	2,859	・前年度までの貸付料減等による債務残高の増 ・コスト削減に伴う事業の見直しによる出資金の減
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	
会社からの引受け債務	123	118	△ 5	
有利子借入金	123	118	△ 5	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	5,208	1,824	△ 3,384	
貸付料	5,208	1,822	△ 3,386	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	0	1	1	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	3,329	1,897	△ 1,432	
管理費等 [※]	249	83	△ 167	・貸付料の減に伴う納付消費税の減による管理費等の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	3,079	1,814	△ 1,265	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,879	△ 73	△ 1,952	
未償還残高(平成25年度期首) ^{注2)}	154,069	158,242	4,174	
債務残高(平成25年度期首)	108,242	113,047	4,806	
有利子借入金	108,242	113,047	4,806	・貸付料の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成25年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	7,090	3,634	△ 3,456	・計画に比べ実績交通量が減少したことによる収入の減 ・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	1,882	1,535	△ 347	
	貸付料支払い	5,208	1,822	△ 3,386	
新たな資産形成に係る部分	収入	123	89	△ 34	
	有利子借入金	123	89	△ 34	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	123	93	△ 30	
	新設・改築費等	0	0	0	・補修実施時期の見直し等による修繕費等の減
	修繕費等	123	93	△ 30	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	0	0	
	債務残高(平成24年度期首)	0	28	28	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	123	118	△ 5	
	有利子借入金	123	118	△ 5	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【本州四国連絡高速道路に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	3,144,246	3,134,148	△ 10,098	
債務残高(平成24年度期首)	1,527,621	1,517,523	△ 10,098	
有利子借入金 ^{注2)}	1,345,068	1,334,969	△ 10,098	・スマートIC及び災害復旧に係わる引受債務について、計画上、総額を平成23年度に一括計上していることによる乖離等による前年度までの引受け債務の減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	182,553	182,553	0	
出資金	1,616,625	1,616,625	0	
会社からの引受け債務	8,298	3,735	△ 4,563	
有利子借入金	8,298	3,735	△ 4,563	・修繕事業における工期の見直し等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	101,593	108,405	6,812	
貸付料	40,644	48,011	7,367	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	149	141	△ 8	
出資金等 [※]	60,800	60,253	△ 547	
支出	23,621	24,917	1,296	
管理費等 [※]	1,635	2,197	562	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・資金調達額増による支払利息の増
支払利息	21,986	22,719	733	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	77,972	83,488	5,516	
未償還残高(平成25年度期首) ^{注3)}	3,135,372	3,114,648	△ 20,724	
債務残高(平成25年度期首)	1,457,947	1,437,770	△ 20,177	
有利子借入金	1,292,774	1,272,597	△ 20,177	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	165,173	165,173	0	
出資金	1,677,425	1,676,878	△ 547	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 高速道路利便増進事業に関する計画の見直しに伴い承継債務の移動を行っている。

注3) 平成25年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【本州四国連絡高速道路に係る地域路線網】

【本四高速道路㈱】

[単位: 百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな資産形成	収入(料金収入)	56,893	64,828	7,935	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	16,249	16,703	454	
	貸付料支払い	40,644	48,011	7,367	
新たな資産形成に係る部分	収入	8,298	5,300	△ 2,998	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	8,298	5,300	△ 2,998	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	8,298	5,937	△ 2,361	・工期の見直し等による修繕費等の減 ・平成23年9月の台風12号等で被災した箇所の災害復旧工事による災害復旧費の増(計画値は平成23年度に一括計上している)
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	8,298	5,865	△ 2,433	
	災害復旧費	0	72	72	
	債務	0	5,112	5,112	・前年度までの工事工程見直し等による増
	債務残高(平成24年度期首)	0	3,546	3,546	
	機構への引き渡し債務	8,298	3,735	△ 4,563	
	有利子借入金	8,298	3,735	△ 4,563	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	・修繕事業における工期の見直し等による減	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道16号(八王子バイパス)】

[高速道路機構]

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	5,584	5,583	△ 1	
債務残高(平成24年度期首)	5,584	5,583	△ 1	
有利子借入金 ^{注2)}	5,584	5,583	△ 1	
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	154	32	△ 122	
有利子借入金	154	32	△ 122	
社会資本借入金	0	0	0	・災害復旧に係わる引受け債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,847	1,779	△ 67	
貸付料	1,846	1,779	△ 67	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	1	1	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	155	162	7	
管理費等 [※]	82	85	3	・引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増
支払利息	73	77	4	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,691	1,617	△ 74	
未償還残高(平成25年度期首)	4,047	3,998	△ 49	
債務残高(平成25年度期首)	4,047	3,998	△ 49	
有利子借入金	4,047	3,998	△ 49	・引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 高速道路利便増進事業に関する計画の見直しに伴い承継債務の移動を行っている。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道16号(八王子バイパス)】

〔中日本高速道路株〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保ら ない 資産 形成	収入(料金収入) ^{注2)}	2,255	2,165	△ 90	・計画に比べ、実績交通量が減少したことによる収入の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	409	416	7	
	貸付料支払い	1,846	1,779	△ 67	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	154	29	△ 125	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	154	29	△ 125	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	154	29	△ 125	・災害復旧費について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	53	29	△ 24	
	災害復旧費	101	0	△ 101	
	債務	0	1	1	・前年度までの工事工程見直し等による増
	債務残高(平成24年度期首)	0	4	4	
	機構への引き渡し債務	154	32	△ 122	
	有利子借入金	154	32	△ 122	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	・災害復旧に係わる引き渡し債務について、計画上、総額を平成24年度に一括計上していることによる乖離	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

[高速道路機構]

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	2,315	1,826	△ 489	
債務残高(平成24年度期首)	2,315	1,826	△ 489	
有利子借入金	2,315	1,826	△ 489	・前年度までの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	138	16	△ 122	
有利子借入金	138	16	△ 122	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	150	212	62	
貸付料	150	212	62	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	42	37	△ 5	
管理費等 [※]	0	10	9	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画に比べ、期首債務残高及び引受け債務減による支払利息の減
支払利息	42	28	△ 14	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	108	175	67	
未償還残高(平成25年度期首)	2,345	1,667	△ 677	
債務残高(平成25年度期首)	2,345	1,667	△ 677	
有利子借入金	2,345	1,667	△ 677	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

[中日本高速道路㈱]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保ら ない 資産 形成 部分	収入(料金収入) ^{注2)}	471	552	81	・計画に比べ、実績交通量が増加したことによる収入の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	321	323	2	
	貸付料支払い	150	212	62	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	138	16	△ 122	
	有利子借入金	138	16	△ 122	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	138	16	△ 122	
	新設・改築費等	0	0	0	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の減
	修繕費等	138	16	△ 122	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	0	0	
	債務残高(平成24年度期首)	0	0	0	
	機構への引き渡し債務	138	16	△ 122	
	有利子借入金	138	16	△ 122	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道31号(広島呉道路)】

[高速道路機構]

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	17,797	17,363	△ 434	
債務残高(平成24年度期首)	17,797	17,363	△ 434	
有利子借入金	17,797	17,363	△ 434	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	717	51	△ 666	
有利子借入金	717	51	△ 666	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	2,390	2,409	19	
貸付料	2,386	2,404	18	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	4	5	1	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	397	377	△ 20	
管理費等 [※]	84	116	32	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画に比べ、期首債務残高及び引受け債務減による支払利息の減
支払利息	313	261	△ 52	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,993	2,032	39	
未償還残高(平成25年度期首)	16,521	15,382	△ 1,139	
債務残高(平成25年度期首)	16,521	15,382	△ 1,139	
有利子借入金	16,521	15,382	△ 1,139	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道31号(広島呉道路)】

〔西日本高速道路㈱〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保ら ない 資産 形成	収入(料金収入) ^{注2)}	3,283	3,366	83	・計画に比べ、実績交通量が増加したことによる収入の増 ・工事等数量の確定により差額が生じたことによる支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	897	866	△ 31	
	貸付料支払い	2,386	2,404	18	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	717	120	△ 597	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	717	120	△ 597	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	717	120	△ 597	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	717	120	△ 597	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	97	97	・前年度までの工事工程見直し等による増
	債務残高(平成24年度期首)	0	27	27	
	機構への引き渡し債務	717	51	△ 666	
	有利子借入金	717	51	△ 666	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

[高速道路機構]

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	9,971	4,902	△ 5,069	
債務残高(平成24年度期首)	9,971	4,902	△ 5,069	
有利子借入金	9,971	4,902	△ 5,069	・前年度までの引受け債務額の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	135	79	△ 56	
有利子借入金	135	79	△ 56	・修繕事業において、工事等数量の確定により差額が生じたこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	497	1,323	826	
貸付料	497	1,323	826	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	304	130	△ 174	
管理費等 [※]	18	61	43	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画に比べ、期首債務残高及び引受け債務減による支払利息の減
支払利息	286	69	△ 217	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	193	1,193	1,000	
未償還残高(平成25年度期首)	9,913	3,787	△ 6,125	
債務残高(平成25年度期首)	9,913	3,787	△ 6,125	
有利子借入金	9,913	3,787	△ 6,125	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

〔西日本高速道路㈱〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな 資産形成 部分	収入(料金収入)	1,135	1,984	849	・計画に比べ、実績交通量が増加したことによる収入の増 ・工事等数量の確定により差額が生じたことによる支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	638	533	△ 105	
	貸付料支払い	497	1,323	826	
新たな 資産形成 に係る 部分	収入	135	93	△ 42	
	有利子借入金	135	93	△ 42	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	135	93	△ 42	
	新設・改築費等	0	0	0	・工事等数量の確定により差額が生じたこと等による修繕費等の減
	修繕費等	135	93	△ 42	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	22	22	
	債務残高(平成24年度期首)	0	8	8	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	135	79	△ 56	
	有利子借入金	135	79	△ 56	・修繕事業において、工事等数量の確定により差額が生じたこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道201号(八木山バイパス)】

[高速道路機構]

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成24年度期首)	172	△ 171	△ 342	
債務残高(平成24年度期首)	172	△ 171	△ 342	
有利子借入金	172	△ 171	△ 342	・前年度までの会社からの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	1,290	165	△ 1,125	
有利子借入金	1,290	165	△ 1,125	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減 ・現在、耐震補強工事等を実施中であり、今後、会社から債務引受け(約30億円)を予定
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,145	1,355	210	
貸付料	1,145	1,355	210	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	△ 5	58	64	
管理費等 [※]	△ 5	58	64	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増
支払利息	0	0	0	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,150	1,297	146	
未償還残高(平成25年度期首)	311	△ 1,303	△ 1,614	
債務残高(平成25年度期首)	311	△ 1,303	△ 1,614	
有利子借入金	311	△ 1,303	△ 1,614	・引受け債務の減等 ・現在、耐震補強工事等を実施中であり、今後、会社から債務引受け(約30億円)を予定
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は占用料、連結料、土地売却による収入など、「出資金等」は国等からの出資金及び補助金、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道201号(八木山バイパス)】

〔西日本高速道路㈱〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 た な 資 産 形 成 に 係 ら な い 部 分	収入(料金収入) ^{注2)}	1,438	1,691	253	・計画に比べ、実績交通量が増加したことによる収入の増 ・工事等数量の確定により差額が生じたことによる支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	293	324	31	
	貸付料支払い	1,145	1,355	210	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	1,413	626	△ 787	
	有利子借入金	1,413	626	△ 787	・資産形成に係る支出減少に伴う借入金の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	1,413	626	△ 787	
	新設・改築費等	0	0	0	・対外協議等により、補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の減
	修繕費等	1,413	626	△ 787	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	343	557	214	
	債務残高(平成24年度期首)	220	96	△ 124	・前年度までの工事工程見直し等による減
	機構への引き渡し債務	1,290	165	△ 1,125	
有利子借入金	1,290	165	△ 1,125	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減 ・現在、耐震補強工事等を実施中であり、今後、機構への債務引き渡し(約30億円)を予定	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成25年度(2013年度)期首の債務残高の計画と実績の対比

[単位:兆円]

	各社から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務 (及び出資金の合計額)の試算額(平成25年度期首値)			差異の理由
	計画	実績	差額	
東日本高速道路(株)	9.3	9.2	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
中日本高速道路(株)	6.8	6.5	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
西日本高速道路(株)	8.3	8.1	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
合計	24.4	23.8	0.6	

注1)「計画」は、高速道路機構の中期計画に基づき、全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成25年度(2013年度)期首値である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況

債務残高及び債務返済状況

[単位：兆円]

		計 画 (A)	実 績 (B)	差 額 (B) - (A)
会 社	H24期首	2.6	2.6	△ 0.0
	新たな資産形成	1.8	0.8	△ 1.0
	引き渡し債務	2.1	1.5	△ 0.6
	債務残高 ^{注1)}	2.3	1.8	△ 0.4
機 構	H24期首	30.2	30.2	△ 0.0
	引き受け債務	2.1	1.5	△ 0.6
	基礎収支 (貸付料-支払利息)	1.1	1.2	0.1
	債務返済 その他収支	0.1	0.1	△ 0.0
	債務返済 計	1.2	1.2	0.1
	債務残高	31.1	30.4	△ 0.7
合 計	債務残高	33.4	32.3	△ 1.1

出資金

H24期首	5.2	5.2	△ 0.0
H24増加分	0.1	0.1	△ 0.0
出資金累計額	5.4	5.4	△ 0.0

未償還残高

債務残高（会社+機構）+出資金	38.7	37.6	△ 1.1
-----------------	------	------	-------

注1) 機構が出資金を財源として会社に貸し付けた無利子借入金分は機構の出資金と重複するため除いている。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)

[単位:億円(消費税抜き)]

	全国路線網	地域路線網				一の路線	損益計算書 計上額
		首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路		
経常費用							
道路資産貸付業務費	7,035.0	1,444.1	796.5	26.7	375.6	26.8	9,705.0
貸付原価	7,035.0	1,444.1	796.5	26.7	375.6	26.8	9,705.0
貸付道路資産減価償却費	6,712.3	1,333.3	777.7	26.7	370.0	26.6	9,246.9
固定資産除却損	308.8	105.9	17.1	0.0	5.1	0.2	437.3
その他	13.8	4.7	1.6	0.0	0.4	0.0	20.7
経営努力助成業務費	9.4	—	—	—	—	—	9.4
経営努力助成金	9.4	—	—	—	—	—	9.4
一般管理費	11.4	1.9	1.2	0.0	0.3	0.0	15.0
人件費	6.5	1.1	0.7	0.0	0.2	0.0	8.6
経費	4.9	0.7	0.4	0.0	0.1	0.0	6.3
財務費用	3,361.9	560.6	434.4	16.9	224.0	4.1	4,602.2
支払利息	3,282.7	556.1	430.5	16.7	221.7	4.0	4,512.0
債券利息	2,947.3	509.0	402.8	15.7	210.4	3.7	4,089.2
債券発行差額償却費	76.3	14.7	11.5	0.4	5.2	0.0	108.3
支払利息	259.0	32.4	16.1	0.6	6.0	0.1	314.4
債券発行費	75.7	4.2	3.6	0.1	2.2	0.1	86.1
その他の財務費用	3.4	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	4.0
債券償還手数料	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	3.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	3.8
道路資産取得関連費用	885.0	60.6	6.8	0.0	0.7	0.1	953.4
道路建設人件費償却費	149.9	29.7	3.9	0.0	0.4	0.0	184.2
道路建設経費償却費	201.1	29.4	2.7	0.0	0.2	0.0	233.7
道路建設金利償却費	533.9	1.3	0.1	0.0	0.0	0.0	535.4
雑損	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
経常費用合計	11,303.9	2,067.3	1,239.2	43.7	600.8	31.2	15,286.3
経常収益							
道路資産貸付料収入	12,016.4	1,919.4	1,260.1	17.3	457.2	67.3	15,738.0
占用料収入	8.1	8.6	3.3	0.0	0.9	0.0	21.1
連結料収入	21.0	0.0	0.0	—	0.4	—	21.5
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	55.0	—	—	—	—	—	55.0
資産見返負債戻入	31.6	2.2	0.0	—	0.1	0.0	34.2
資産見返補助金等戻入	14.4	0.2	—	—	—	—	14.6
資産見返寄附金戻入	17.2	2.0	0.0	—	0.1	0.0	19.5
財務収益	7.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	7.8
受取利息	7.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	7.8
雑益	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
経常収益合計	12,141.0	1,930.6	1,263.7	17.3	459.0	67.4	15,879.3
経常利益又は経常損失(△)	837.0	△ 136.7	24.5	△ 26.4	△ 141.7	36.2	593.0
臨時損失							
高速道路利便増進事業引当金繰入	△ 5.3	5.0	1.4	—	452.0	165.7	618.9
固定資産売却損	△ 6.5	5.0	1.4	—	452.0	△ 0.1	451.8
固定資産譲渡損	1.2	—	—	—	—	—	1.2
前期損益修正損	—	—	—	—	—	165.8	165.8
前期損益修正損	—	—	—	—	—	—	—
臨時利益							
高速道路利便増進事業引当金戻入	2,659.2	194.9	98.4	12.2	669.4	21.6	3,656.0
固定資産売却益	3,013.2	169.3	98.4	12.2	224.6	21.5	3,539.6
前期損益修正益	0.9	—	—	—	—	—	0.9
前期損益修正益	24.0	25.5	0.0	0.0	0.0	—	49.6
債務振替に伴う承継益 注1)	△ 444.9	—	—	—	444.8	0.1	—
その他	65.9	—	—	—	—	—	65.9
当期純利益	3,501.6	53.1	121.6	△ 14.1	75.6	△ 107.7	3,630.1
当期総利益	3,501.6	53.1	121.6	△ 14.1	75.6	△ 107.7	3,630.1

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)(一の路線)

[単位:億円(消費税抜き)]

	一の路線					
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道139号 (西富士道路)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房 峠道路))	一般国道31号 (広島県道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	一般国道201号 (八木山バイパス)
経常費用						
道路資産貸付業務費	2.7	0.0	2.3	10.5	6.4	4.7
貸付原価	2.7	0.0	2.3	10.5	6.4	4.7
貸付道路資産減価償却費	2.6	—	2.2	10.4	6.4	4.7
固定資産除却損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経営努力助成業務費	—	—	—	—	—	—
経営努力助成金	—	—	—	—	—	—
一般管理費	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
経費	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
財務費用	0.7	—	0.2	2.4	0.6	—
支払利息	0.7	—	0.2	2.4	0.6	—
債券利息	0.6	—	0.2	2.2	0.5	—
債券発行差額償却費	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
支払利息	0.0	—	0.0	0.1	0.0	—
債券発行費	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
その他の財務費用	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
債券償還手数料	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
道路資産取得関連費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道路建設人件費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道路建設経費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道路建設金利償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
雑損	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
経常費用合計	3.5	0.0	2.6	13.0	7.1	4.7
経常収益						
道路資産貸付料収入	16.9	—	2.0	22.8	12.6	12.9
占用料収入	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0
連結料収入	—	—	—	—	—	—
その他収入	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	—	—	—	—	—	—
資産見返負債戻入	—	—	—	0.0	0.0	—
資産見返補助金等戻入	—	—	—	—	—	—
資産見返寄附金戻入	—	—	—	0.0	0.0	—
財務収益	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
受取利息	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
雑益	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
経常収益合計	16.9	—	2.0	23.0	12.6	12.9
経常利益又は経常損失(△)	13.4	△0.0	△0.6	9.9	5.4	8.1
臨時損失	△0.1	165.8	—	—	—	—
高速道路利便増進事業引当金繰入	△0.1	—	—	—	—	—
固定資産売却損	—	—	—	—	—	—
固定資産譲渡損	—	165.8	—	—	—	—
前期損益修正損	—	—	—	—	—	—
臨時利益	6.0	—	1.7	6.5	5.5	1.7
高速道路利便増進事業引当金戻入	5.9	—	1.7	6.5	5.5	1.7
固定資産売却益	—	—	—	—	—	—
前期損益修正益	—	—	—	—	—	—
[債務振替に伴う承継益 注1)	0.1	—	—	—	—	—]
その他	—	—	—	—	—	—
当期純利益	19.6	△165.9	1.1	16.4	10.9	9.8
当期総利益	19.6	△165.9	1.1	16.4	10.9	9.8

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。
注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)

[単位:億円(消費税抜き)]

	全国路線網	地域路線網				一の路線	貸借対照表計上額
		首都高速道路	阪神高速道路(阪神圏)	阪神高速道路(京都圏)	本四高速道路		
資産の部							
I 流動資産							
現金預金	83.9	12.3	8.4	0.0	3.1	0.8	108.8
有価証券	1,472.0	217.1	148.1	0.5	55.2	15.7	1,909.0
道路資産貸付料等未収入金	1,883.9	168.0	130.6	4.3	107.5	16.6	2,311.0
未収入金	407.7	76.7	29.2	1.4	12.4	2.2	530.0
短期貸付金	6.7	610.7	594.0	—	—	—	1,211.5
貯蔵品	22.7	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	22.8
前払金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	3,877.4	1,085.0	910.6	6.4	178.4	35.5	6,093.6
II 固定資産							
1 有形固定資産							
建物	2,938.0	721.1	168.7	31.3	99.1	11.3	3,969.8
減価償却累計額	△ 785.3	△ 124.1	△ 44.7	△ 4.1	△ 33.1	△ 3.4	△ 995.2
構築物	253,306.1	50,347.9	26,492.4	1,228.7	24,255.0	830.7	356,461.1
減価償却累計額	△ 43,042.3	△ 8,325.2	△ 5,384.0	△ 108.6	△ 2,690.5	△ 175.7	△ 59,726.5
機械装置	8,709.2	2,148.6	658.9	45.6	313.0	45.3	11,920.8
減価償却累計額	△ 3,945.4	△ 841.4	△ 294.0	△ 15.8	△ 165.1	△ 26.7	△ 5,288.7
工具器具備品	31.9	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	32.2
減価償却累計額	△ 14.5	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0	△ 14.7
土地	69,162.8	10,512.3	6,418.5	133.5	2,229.3	431.2	88,887.9
建設仮勘定	3,213.1	547.2	2,435.3	—	—	—	6,195.8
有形固定資産合計	289,573.6	54,986.7	30,451.2	1,310.5	24,007.7	1,112.6	401,442.5
2 無形固定資産							
借地権	47.1	2,202.5	224.7	28.2	15.4	0.0	2,518.1
ソフトウェア	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
その他	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2
無形固定資産合計	58.7	2,202.5	224.7	28.2	15.4	0.0	2,529.7
3 投資その他の資産							
長期貸付金	25.3	723.6	414.3	—	—	—	1,163.3
敷金保証金	1.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4
投資その他の資産合計	26.4	723.8	414.4	0.0	0.0	0.0	1,164.8
固定資産合計	289,658.8	57,913.0	31,090.4	1,338.7	24,023.2	1,112.7	405,137.1
資産合計	293,536.2	58,998.1	32,001.0	1,345.2	24,201.7	1,148.2	411,230.7
負債の部							
I 流動負債							
1年以内償還予定機構債	24,600.3	5,544.0	4,563.4	158.7	1,620.2	29.5	36,516.4
債券発行差額	△ 3.4	△ 0.9	△ 0.7	△ 0.0	△ 0.2	△ 0.0	△ 5.3
1年以内返済予定長期借入金	4,198.6	1,187.0	660.1	22.9	219.2	2.0	6,290.2
未払金	330.2	13.1	21.3	33.8	3.7	1.0	403.4
未払費用	612.4	84.3	82.9	3.2	39.1	0.8	822.9
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
賞与引当金	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
流動負債合計	29,742.0	6,828.7	5,327.9	218.8	1,882.4	33.5	44,033.6
II 固定負債							
資産見返負債	919.4	115.0	1.4	—	1.3	1.2	1,038.6
資産見返補助金等	590.9	6.3	—	—	—	—	597.3
資産見返寄附金	328.5	108.6	1.4	—	1.3	1.2	441.2
長期預り寄附金	184.0	—	—	—	—	—	184.0
機構債	182,333.5	29,028.1	22,279.4	708.6	11,444.2	233.5	246,027.7
債券発行差額	△ 815.3	△ 172.1	△ 136.0	△ 4.3	△ 51.4	△ 1.1	△ 1,180.4
長期借入金	5,680.8	5,484.6	1,926.1	67.0	1,152.8	0.7	14,312.2
長期未払金	4,815.9	—	—	—	—	—	4,815.9
引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	193,934.0	34,627.8	24,207.1	775.7	12,598.4	235.5	266,378.7
III 法令に基づく引当金等							
高速道路利便増進事業引当金	3,059.8	4,343.0	2,997.6	61.5	248.3	22.3	10,732.9
法令に基づく引当金等合計	3,059.8	4,343.0	2,997.6	61.5	248.3	22.3	10,732.9
負債合計	226,735.9	45,799.6	32,532.8	1,056.1	14,729.3	291.4	321,145.3
純資産の部							
I 資本金							
政府出資金	19,548.6	5,033.1	3,355.4	225.9	11,178.8	—	39,342.1
地方公共団体出資金	—	5,033.1	3,355.4	225.9	5,589.9	—	14,204.5
資本金合計	19,548.6	10,066.3	6,710.9	451.9	16,768.7	—	53,546.7
II 資本剰余金							
資本剰余金	0.8	—	—	—	—	—	0.8
施行法第15条による積立金	18,841.5	2,996.9	△ 7,441.2	—	△ 6,604.0	682.6	8,475.7
資本剰余金合計	18,842.3	2,996.9	△ 7,441.2	—	△ 6,604.0	682.6	8,476.6
III 利益剰余金							
積立金	24,907.6	82.0	76.8	△ 148.7	△ 767.8	281.9	24,431.9
当期末処分利益	3,501.6	53.1	121.6	△ 14.1	75.6	△ 107.7	3,630.1
利益剰余金合計	28,409.2	135.2	198.5	△ 162.8	△ 692.2	174.1	28,062.0
純資産合計	66,800.3	13,198.5	△ 531.7	289.1	9,472.4	856.7	90,085.4
負債純資産合計	293,536.2	58,998.1	32,001.0	1,345.2	24,201.7	1,148.2	411,230.7

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)(一の路線)

[単位:億円(消費税抜き)]

	一の路線					
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道139号 (西富士道路)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	一般国道31号 (広島呉道路)	一般国道185号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	一般国道201号 (八木山バイパス)
資産の部						
I 流動資産						
現金預金	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
有価証券	2.5	0.7	0.3	2.8	1.5	1.4
道路資産貸付料等未収入金	1.5	—	1.1	2.1	8.7	3.1
未収入金	0.8	—	0.0	0.8	0.1	0.4
短期貸付金	—	—	—	—	—	—
貯蔵品	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
前払金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
前払費用	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	5.0	0.7	1.5	5.9	10.5	5.0
II 固定資産						
1 有形固定資産						
建物	0.7	—	3.1	4.1	2.2	1.0
減価償却累計額	△ 0.3	—	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3
構築物	98.1	—	13.4	334.3	207.2	177.4
減価償却累計額	△ 19.7	—	△ 5.9	△ 75.8	△ 39.5	△ 34.5
機械装置	0.7	—	17.6	9.6	14.7	2.5
減価償却累計額	△ 0.3	—	△ 11.6	△ 5.5	△ 8.5	△ 0.6
工具器具備品	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
減価償却累計額	△ 0.0	—	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0
土地	154.3	—	—	248.4	9.4	19.0
建設仮勘定	—	—	—	—	—	—
有形固定資産合計	233.5	—	15.5	514.1	184.8	164.4
2 無形固定資産						
借地権	—	—	—	0.0	—	—
ソフトウェア	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
無形固定資産合計	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
3 投資その他の資産						
長期貸付金	—	—	—	—	—	—
敷金保証金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
投資その他の資産合計	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産合計	233.5	—	15.5	514.2	184.8	164.4
資産合計	238.6	0.7	17.1	520.2	195.4	169.5
負債の部						
I 流動負債						
1年以内償還予定機構債	5.2	—	1.8	17.7	4.7	—
債券発行差額	△ 0.0	—	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	—
1年以内返済予定長期借入金	0.3	—	0.1	1.2	0.3	—
未払金	0.7	—	0.0	0.1	0.0	0.0
未払費用	0.1	—	0.0	0.4	0.1	0.0
預り金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
賞与引当金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
流動負債合計	6.5	—	2.0	19.6	5.2	0.0
II 固定負債						
資産見返負債	—	—	—	1.2	0.0	—
資産見返補助金等	—	—	—	—	—	—
資産見返寄附金	—	—	—	1.2	0.0	—
長期預り寄附金	—	—	—	—	—	—
機構債	37.3	△ 1.1	14.9	140.1	52.8	△ 8.1
債券発行差額	△ 0.1	0.0	△ 0.0	△ 0.6	△ 0.2	0.0
長期借入金	0.0	—	0.0	0.4	0.1	—
長期未払金	—	—	—	—	—	—
引当金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
退職給付引当金	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
固定負債合計	37.4	△ 1.1	15.0	141.9	52.9	△ 8.1
III 法令に基づく引当金等						
高速道路利便増進事業引当金	5.3	—	2.0	6.9	6.3	1.5
法令に基づく引当金等合計	5.3	—	2.0	6.9	6.3	1.5
負債合計	49.3	△ 1.1	19.1	168.4	64.5	△ 6.5
純資産の部						
I 資本金						
政府出資金	—	—	—	—	—	—
地方公共団体出資金	—	—	—	—	—	—
資本金合計	—	—	—	—	—	—
II 資本剰余金						
資本剰余金	—	—	—	—	—	—
施行法第15条による積立金	42.5	108.9	△ 8.9	258.1	71.2	117.4
資本剰余金合計	42.5	108.9	△ 8.9	258.1	71.2	117.4
III 利益剰余金						
積立金	127.1	58.8	5.7	77.1	48.6	48.6
当期未処分利益	19.6	△ 165.9	1.1	16.4	10.9	9.8
利益剰余金合計	146.7	△ 107.0	6.9	93.5	59.6	58.5
純資産合計	189.2	1.9	△ 2.0	351.7	130.8	176.0
負債純資産合計	238.6	0.7	17.1	520.2	195.4	169.5

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(損益計算書)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位:億円(消費税抜き)]

	東日本高速道路㈱ 所管分	中日本高速道路㈱ 所管分	西日本高速道路㈱ 所管分	合計
経常費用				
道路資産貸付業務費	2,642.0	2,139.4	2,253.6	7,035.0
貸付原価	2,642.0	2,139.4	2,253.6	7,035.0
貸付道路資産減価償却費	2,474.4	2,023.4	2,214.4	6,712.3
固定資産除却損	160.2	112.8	35.8	308.8
その他	7.3	3.1	3.3	13.8
経営努力助成業務費	2.7	0.0	6.6	9.4
経営努力助成金	2.7	0.0	6.6	9.4
一般管理費	4.1	3.5	3.7	11.4
人件費	2.3	1.9	2.1	6.5
経費	1.8	1.6	1.5	4.9
財務費用	1,269.3	946.7	1,145.8	3,361.9
支払利息	1,238.5	927.2	1,117.0	3,282.7
債券利息	1,098.9	823.5	1,024.8	2,947.3
債券発行差額償却費	29.1	20.0	27.1	76.3
支払利息	110.4	83.6	64.9	259.0
債券発行費	29.5	18.6	27.6	75.7
その他の財務費用	1.2	0.9	1.2	3.4
債券償還手数料	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	1.2	0.8	1.1	3.2
道路資産取得関連費用	83.2	736.3	65.3	885.0
道路建設人件費償却費	37.7	88.1	24.0	149.9
道路建設経費償却費	32.2	139.4	29.4	201.1
道路建設金利償却費	13.3	508.7	11.8	533.9
雑損	0.1	0.3	0.5	1.0
経常費用合計	4,001.7	3,826.4	3,475.7	11,303.9
経常収益				
道路資産貸付料収入	4,489.1	3,483.5	4,043.7	12,016.4
占用料収入	3.3	1.6	3.1	8.1
連結料収入	5.9	9.4	5.5	21.0
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	55.0	—	—	55.0
資産見返負債戻入	19.5	7.2	4.8	31.6
資産見返補助金等戻入	14.4	—	—	14.4
資産見返寄附金戻入	5.0	7.2	4.8	17.2
財務収益	2.7	1.7	2.6	7.1
受取利息	2.7	1.7	2.6	7.1
雑益	0.3	1.0	0.0	1.4
経常収益合計	4,576.1	3,504.7	4,060.0	12,141.0
経常利益又は経常損失(△)	574.4	△ 321.6	584.2	837.0
臨時損失	△ 14.3	△ 1.4	10.3	△ 5.3
高速道路利便増進事業引当金繰入	△ 14.3	△ 1.5	9.3	△ 6.5
固定資産売却損	0.0	0.1	1.0	1.2
固定資産譲渡損	—	—	—	—
前期損益修正損	—	—	—	—
臨時利益	745.0	960.4	953.7	2,659.2
高速道路利便増進事業引当金戻入	922.2	1,018.1	1,072.8	3,013.2
固定資産売却益	0.7	0.0	0.1	0.9
前期損益修正益	0.3	18.0	5.6	24.0
〔債務振替に伴う承継益 注1〕	△ 178.8	△ 140.7	△ 125.3	△ 444.9
その他	0.5	64.9	0.4	65.9
当期純利益	1,333.8	640.2	1,527.5	3,501.6
当期総利益	1,333.8	640.2	1,527.5	3,501.6

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構のセグメント情報(貸借対照表)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位:億円(消費税抜き)]

	東日本高速道路機構 所管分	中日本高速道路機構 所管分	西日本高速道路機構 所管分	合計
資産の部				
I 流動資産				
現金預金	30.1	25.5	28.2	83.9
有価証券	528.1	448.4	495.4	1,472.0
道路資産貸付料等未収入金	780.9	478.1	624.7	1,883.9
未収入金	79.7	213.6	114.2	407.7
短期貸付金	1.1	3.0	2.6	6.7
貯蔵品	3.6	1.2	17.8	22.7
前払金	0.0	0.0	0.0	0.1
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	1,423.8	1,170.2	1,283.3	3,877.4
II 固定資産				
1 有形固定資産				
建物	1,103.1	897.0	937.8	2,938.0
減価償却累計額	△ 334.1	△ 206.3	△ 244.8	△ 785.3
構築物	93,951.6	73,815.4	85,539.1	253,306.1
減価償却累計額	△ 16,883.7	△ 11,036.8	△ 15,121.8	△ 43,042.3
機械装置	2,909.4	2,832.6	2,967.1	8,709.2
減価償却累計額	△ 1,455.5	△ 1,048.0	△ 1,441.8	△ 3,945.4
工具器具備品	15.2	13.9	2.7	31.9
減価償却累計額	△ 7.5	△ 5.4	△ 1.6	△ 14.5
土地	20,790.2	24,490.1	23,882.5	69,162.8
建設仮勘定	1,310.3	1,465.0	437.6	3,213.1
有形固定資産合計	101,399.1	91,217.6	96,956.7	289,573.6
2 無形固定資産				
借地権	18.9	17.8	10.3	47.1
ソフトウェア	0.0	0.0	0.3	0.3
その他	1.7	4.0	5.4	11.2
無形固定資産合計	20.6	21.9	16.1	58.7
3 投資その他の資産				
長期貸付金	6.2	10.1	9.0	25.3
敷金保証金	0.4	0.3	0.3	1.1
投資その他の資産合計	6.6	10.4	9.4	26.4
固定資産合計	101,426.4	91,250.0	96,982.3	289,658.8
資産合計	102,850.3	92,420.3	98,265.6	293,536.2
負債の部				
I 流動負債				
1年以内償還予定機構債	9,758.8	5,999.9	8,841.6	24,600.3
債券発行差額	△ 1.3	△ 0.8	△ 1.2	△ 3.4
1年以内返済予定長期借入金	947.4	1,827.6	1,423.4	4,198.6
未払金	222.5	20.8	86.8	330.2
未払費用	239.9	149.9	222.5	612.4
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.1	0.1	0.1	0.3
賞与引当金	0.1	0.1	0.1	0.3
流動負債合計	11,168.9	7,998.4	10,574.6	29,742.0
II 固定負債				
資産見返負債	680.8	156.6	82.0	919.4
資産見返補助金等	590.9	—	—	590.9
資産見返寄附金	89.8	156.6	82.0	328.5
長期預り寄附金	61.3	61.3	61.3	184.0
機構債	76,321.5	44,772.4	61,239.6	182,333.5
債券発行差額	△ 367.1	△ 164.2	△ 284.0	△ 815.3
長期借入金	887.0	3,629.3	1,164.4	5,680.8
長期未払金	4,815.9	—	—	4,815.9
引当金	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	82,766.7	48,619.7	62,547.5	193,934.0
III 法令に基づく引当金等				
高速道路利便増進事業引当金	891.2	1,068.3	1,100.2	3,059.8
法令に基づく引当金等合計	891.2	1,068.3	1,100.2	3,059.8
負債合計	94,826.9	57,686.4	74,222.4	226,735.9
純資産の部				
I 資本金				
政府出資金	7,668.0	5,104.5	6,776.0	19,548.6
地方公共団体出資金	—	—	—	—
資本金合計	7,668.0	5,104.5	6,776.0	19,548.6
II 資本剰余金				
資本剰余金	0.3	0.0	0.4	0.8
施行法第15条による積立金	△ 6,270.5	16,583.3	8,528.7	18,841.5
資本剰余金合計	△ 6,270.2	16,583.4	8,529.1	18,842.3
III 利益剰余金				
積立金	5,291.7	12,405.6	7,210.3	24,907.6
当期未処分利益	1,333.8	640.2	1,527.5	3,501.6
利益剰余金合計	6,625.5	13,045.8	8,737.8	28,409.2
純資産合計	8,023.3	34,733.8	24,043.1	66,800.3
負債純資産合計	102,850.3	92,420.3	98,265.6	293,536.2

注1) 政府出資金は、各高速道路会社の貸付料で返済する債務を試算した際に、高速道路機構設立時における各高速道路会社の政府出資金と有利子債務の割合を同一と仮定して算出した試算値である。
注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路会社連結損益計算書一覧

[単位: 億円(消費税抜き)]

東日本高速㈱		中日本高速㈱		西日本高速㈱		首都高速㈱		阪神高速㈱		本四高速㈱	
1. 営業収益	8,404	16,810	7,330	4,336	4,336	2,364	2,364	2,364	712	712	
2. 営業費用	4,489	3,502	4,092	1,919	1,919	1,277	1,277	1,277	457	457	
営業収益	3,183	12,671	2,552	2,271	2,271	1,022	1,022	1,022	201	201	
道路資産賃借料	655	572	625	80	80	39	39	39	44	44	
高速道路等事業管理費及び売上原価	8,327	16,746	7,270	4,271	4,271	2,338	2,338	2,338	703	703	
販売費及び一般管理費											
営業利益	76	63	60	64	64	25	25	25	9	9	
1. 営業外収益											
受取利息	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
土地物件賃付料	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
土地物件賃付料	12	3	4	0	0	0	0	0	0	0	
持分法による投資利益	6	5	8	1	1	0	0	0	1	1	
固定資産売却益	12	6	5	3	3	0	0	0	0	0	
その他											
2. 営業外費用											
支払利息	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
損害賠償金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
控除対象外消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常利益	108	80	60	64	64	25	25	25	9	9	
1. 特別利益	19	1	0	1	1	0	0	0	0	0	
負ののれん発生益	2	1	1	24	24	0	0	0	0	0	
未決算特別勘定取崩益	2	1	0	5	5	0	0	0	0	0	
その他	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 特別損失	2	1	4	36	36	0	0	0	0	0	
固定資産売却損	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
税金等調整前当期純利益	130	83	62	119	119	32	32	32	9	9	
法人税、住民税及び事業税	48	6	0	65	65	17	17	17	0	0	
法人税等調整額	△0	△0	△7	65	65	0	0	0	0	0	
少数株主損失	△0	△0	△0	0	0	△1	△1	△1	0	0	
当期純利益	82	43	55	54	54	15	15	15	17	17	
税金等調整前当期純利益	82	43	62	119	119	32	32	32	9	9	
法人税、住民税及び事業税											
法人税等調整額											
少数株主損失											
当期純利益											
1. 営業収益											
営業収益											
2. 営業費用											
道路資産賃借料											
高速道路等事業管理費及び売上原価											
販売費及び一般管理費											
営業利益											
1. 営業外収益											
受取利息											
土地物件賃付料											
土地物件賃付料											
持分法による投資利益											
固定資産売却益											
その他											
2. 営業外費用											
支払利息											
損害賠償金											
控除対象外消費税											
その他											
経常利益											
1. 特別利益											
負ののれん発生益											
未決算特別勘定取崩益											
その他											
2. 特別損失											
固定資産売却損											
その他											
税金等調整前当期純利益											
法人税、住民税及び事業税											
法人税等調整額											
少数株主損失											
当期純利益											

注) 繰越利益の繰上、計が含まれないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路会社連結貸借対照表一覧

[単位:億円(消費税抜き)]

東日本高速		中日本高速		西日本高速		首都高速		阪神高速		本州四国連絡高速	
I 流動資産	5,557	I 流動資産	8,948	I 流動資産	6,503	I 流動資産	4,462	I 流動資産	2,841	I 流動資産	317
現金及び預金	152	現金及び預金	249	現金及び預金	370	現金及び預金	119	現金及び預金	61	現金及び預金	112
高速道路事業営業未収入金	698	高速道路事業営業未収入金	444	高速道路事業営業未収入金	592	高速道路事業営業未収入金	241	高速道路事業営業未収入金	176	高速道路事業営業未収入金	62
未収入金	90	未収入金	72	短期貸付金	115	未収入金	24	未収入金	63	有価証券	89
有価証券	549	有価証券	982	有価証券	620	短期貸付金	439	未収還付法人税等	0	たな卸資産	35
仕掛道路資産	3,844	仕掛道路資産	6,856	仕掛道路資産	4,448	たな卸資産	3,273	未収消費税等	18	短期貸付金	6
その他のたな卸資産	32	たな卸資産	41	その他	356	受託業務前払金	326	有価証券	336	繰延税金資産	0
受託業務前払金	95	繰延税金資産	26	貸倒引当金	△ 0	前払金	20	仕掛道路資産	2,044	その他	9
繰延税金資産	11	その他	274			繰延税金資産	11	原材料及び貯蔵品	2	貸倒引当金	△ 0
その他	81	貸倒引当金	△ 0			その他	7	受託業務前払金	110		
貸倒引当金	△ 0					貸倒引当金	△ 2	繰延税金資産	9		
								貸倒引当金	△ 0		
II 固定資産	2,586	II 固定資産	2,879	II 固定資産	2,291	II 固定資産	702	II 固定資産	463	II 固定資産	207
有形固定資産	2,188	有形固定資産	2,649	有形固定資産	2,065	有形固定資産	671	有形固定資産	428	有形固定資産	205
建物	325	建物	420	建物及び構築物	617	建物	89	建物及び構築物	161	建物及び構築物	61
構築物	359	構築物	426	機械装置及び運搬具	482	構築物	189	機械装置及び運搬具	203	機械装置及び運搬具	39
車両運搬具	475	機械及び装置	457	土地	838	車両運搬具	278	土地	40	土地	93
工具、器具及び備品	60	車両運搬具	54	その他	128	工具、器具及び備品	11	リース資産	6	リース資産	1
土地	863	工具、器具及び備品	52	無形固定資産	99	土地	77	建設仮勘定	10	その他	8
リース資産	18	土地	1,198	投資その他の資産	127	リース資産	13	その他	5	無形固定資産	1
建設仮勘定	25	リース資産	9	長期前払費用	17	建設仮勘定	13	無形固定資産	13	投資その他の資産	17
無形固定資産	101	建設仮勘定	31	その他	113	無形固定資産	9	ソフトウエア	13	投資有価証券	14
投資その他の資産	296	無形固定資産	98	貸倒引当金	△ 3	無形固定資産	21	その他	0	長期未収入金	0
投資有価証券	212	投資その他の資産	130			投資有価証券	1	投資有価証券	6	繰延税金資産	0
長期前払費用	16	投資有価証券	54			敷金	10	繰延税金資産	11	その他	△ 0
繰延税金資産	31	繰延税金資産	80			繰延税金資産	4	その他	4	貸倒引当金	2
その他	36	貸倒引当金	△ 2			その他	4	貸倒引当金	△ 0		
貸倒引当金	△ 1										
III 繰延資産	4	III 繰延資産	12	III 繰延資産	4						
道路建設関係社債発行費	4	道路建設関係社債発行費	12								
資産合計	8,147	資産合計	11,839	資産合計	8,799	資産合計	5,165	資産合計	3,305	資産合計	541
I 流動負債	1,706	I 流動負債	2,112	I 流動負債	1,687	I 流動負債	1,567	I 流動負債	1,153	I 流動負債	159
高速道路事業営業未払金	1,090	高速道路事業営業未払金	935	支払手形及び買掛金	119	高速道路事業営業未払金	357	高速道路事業営業未払金	321	未払金	130
1年以内返済予定の長期借入金	50	1年以内返済予定の長期借入金	230	高速道路事業営業未払金	1,111	1年以内返済予定の長期借入金	655	未払金	59	短期借入金	9
リース債務	6	未払金	598	1年以内返済予定の長期借入金	0	リース債務	1	1年以内返済予定の長期借入金	604	1年以内返済予定の長期借入金	0
未払金	275	未払法人税等	12	未払法人税等	32	未払金	135	リース債務	2	リース債務	0
未払法人税等	36	賞与引当金	28	受託業務前受金	58	未払法人税等	12	未払法人税等	4	未払法人税等	2
預り金	24	その他の繰延損失補てん引当金	0	前受金	15	預り金	4	未払消費税等	1	前受金	8
受託業務前受金	105	その他	305	賞与引当金	34	受託業務前受金	346	受託業務前受金	107	賞与引当金	3
前受金	16			ハウズドール繰上損失補てん引当金	0	前受金	6	前受金	4	その他	3
賞与引当金	40			回数券払戻引当金	1	賞与引当金	13	賞与引当金	13		
ハウズドール繰上損失補てん引当金	0			回数券払戻引当金	314	回数券払戻引当金	0	回数券払戻引当金	2		
回数券払戻引当金	0			その他	0	その他	34	仕掛道路損失引当金	13		
その他	59							その他	10		
II 固定負債	4,718	II 固定負債	7,669	II 固定負債	5,456	II 固定負債	3,173	II 固定負債	1,754	II 固定負債	227
道路建設関係社債	3,955	道路建設関係社債	5,950	道路建設関係社債	3,448	道路建設関係社債	1,830	道路建設関係社債	840	長期借入金	52
道路建設関係長期借入金	350	道路建設関係長期借入金	800	道路建設関係長期借入金	1,050	その他の長期借入金	66	道路建設関係長期借入金	669	リース債務	1
長期借入金	27	長期借入金	23	長期借入金	2	リース債務	1	長期借入金	31	長期未払金	5
リース債務	13	退職給付引当金	595	退職給付引当金	651	退職給付引当金	351	リース債務	3	退職給付引当金	142
受入保証金	85	役員退職慰勞引当金	1	役員退職慰勞引当金	2	役員退職慰勞引当金	3	繰延税金負債	0	役員退職慰勞引当金	7
退職給付引当金	730	ETCのれんサービス引当金	56	ETCのれんサービス引当金	62	その他	3	退職給付引当金	197	ETCのれんサービス引当金	7
ETCのれんサービス引当金	62	その他	242	その他	238			役員退職慰勞引当金	0	負ののれん	13
その他引当金	5							ETCのれんサービス引当金	1	その他	4
負ののれん	46							負ののれん	1		
その他	1							その他	6		
負債合計	6,425	負債合計	9,782	負債合計	7,143	負債合計	4,740	負債合計	2,908	負債合計	387
I 株主資本	1,722	I 株主資本	2,031	I 株主資本	1,646	I 株主資本	418	I 株主資本	397	I 株主資本	154
資本金	525	資本金	650	資本金	475	資本金	135	資本金	100	資本金	40
資本剰余金	587	資本剰余金	716	資本剰余金	554	資本剰余金	148	資本剰余金	100	資本剰余金	40
利益剰余金	609	利益剰余金	664	利益剰余金	616			利益剰余金	197	利益剰余金	74
II その他の包括利益累計額	△ 0	II 評価・換算差額等	△ 0	II その他の包括利益累計額	0	II 少数株主持分	5	II その他の包括利益累計額	0	II その他の包括利益累計額	0
その他の有価証券評価差額金	△ 0	その他の有価証券評価差額金	△ 0	為替換算調整勘定	0			その他の有価証券評価差額金	0	その他の有価証券評価差額金	0
		III 少数株主持分	26	III 少数株主持分	9						
				少数株主持分	9						
純資産合計	1,722	純資産合計	2,057	純資産合計	1,655	純資産合計	424	純資産合計	397	純資産合計	154
負債・純資産合計	8,147	負債・純資産合計	11,839	負債・純資産合計	8,799	負債・純資産合計	5,165	負債・純資産合計	3,305	負債・純資産合計	541

注)繰越処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路機構と高速道路会社を合わせた資産と債務の状況

[単位:億円(消費税抜き)]

項目	全国路線網						地域路線網				一の路線	
	内訳(試算値)			首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都市圏)	本四高速道路	中日本高速 西日本高速		中日本高速 西日本高速		
	東日本高速 (株)	中日本高速 (株)	西日本高速 (株)	首都高速 (株)	阪神高速 (株)	阪神高速 (株)	本四高速 (株)	中日本高速 (株)	西日本高速 (株)	中日本高速 (株)	西日本高速 (株)	
高速道路機構	286,418	89,774	96,535	56,641	28,240	1,338	24,023	1,112	249	863	0	
道路資産(機構分)	397,776	89,774	96,535	56,641	28,240	1,338	24,023	1,112	249	863	0	
建設仮勘定(機構分)	6,195	1,465	437	547	2,435	0	0	0	0	0	0	
借入金(機構分)	20,602	5,457	2,587	6,671	2,586	89	1,372	2	0	2	0	
債券(機構分)	282,544	50,772	70,081	34,572	26,842	867	13,064	266	59	207	0	
長期未払金(機構分)	4,836	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
機構分債務合計	307,982	56,229	72,669	41,243	29,429	957	14,436	269	60	209	0	
仕掛道路資産(会社分)	—	6,872	4,456	3,270	2,003	0	30	6	0	6	0	
借入金(会社分)	—	960	1,048	1,528	1,263	0	52	1	0	1	0	
債券(会社分)	—	6,100	3,443	1,830	840	0	—	5	0	5	0	
会社分債務合計	—	7,059	4,491	3,359	2,103	0	52	6	0	6	0	

注1) 本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の資産・債務の状況を示しており、料金の徴収施設等高速道路会社固有の資産に関するものは含まない。

なお、各項目の「(機構分)」については、高速道路機構の金額を各セグメントにも内訳として記載している。

注2) 「借入金(会社分)」及び「債券(会社分)」は、協定に基づき高速道路会社が高速道路機構へ引渡すこととなるが、債務引受限度額を超過した場合、その超過分については高速道路機構へ引き渡されない。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路機構と高速道路会社を合わせた債務の状況の推移

[単位:億円]

項目	高速道路機構	道 路 会 社							合 計
		東日本高速(株)	中日本高速(株)	西日本高速(株)	首都高速(株)	阪神高速(株)	本四高速(株)	道路会社計	
機構発足時	382,179	1,263	2,694	882	2,145	693	4	7,680	389,859
平成17年度	372,858	1,957	3,715	1,170	2,536	851	17	10,246	383,104
平成18年度	361,125	2,850	5,935	2,272	3,534	1,299	18	15,908	377,033
平成19年度	352,236	3,221	7,875	2,498	2,932	1,543	20	18,089	370,325
平成20年度	313,801	3,942	9,279	3,429	3,676	1,642	38	22,006	335,807
平成21年度	312,870	4,142	11,019	3,101	2,587	2,041	37	22,927	335,797
平成22年度	306,799	4,043	12,580	3,194	2,878	1,742	33	24,470	331,269
平成23年度	303,244	3,344	15,462	3,497	3,701	1,644	36	27,984	331,228
平成24年度	307,982	3,745	7,059	4,497	3,359	2,103	52	20,815	328,797

注1) 全国路線網、地域路線網、一の路線すべての合計である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 全国路線網
【東日本高速網】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	9,208.8	191.3	14.4	9,385.7	211.5	1,545.2	7,840.4	12,826.0
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	1,789.4	2.3	1.2	1,790.5	41.2	320.6	1,469.8	2,614.1
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道				4,227.7	23.1	1.3	4,249.4	96.5	520.0	3,729.4	4,620.7
高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	3,234.7	3.1	0.2	3,237.5	62.4	524.9	2,712.5	4,181.2
東北自動車道					11,028.3	266.7	36.7	11,258.3	283.6	2,120.6	9,137.7	19,934.8
高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	1,703.5	2.3	0.3	1,705.5	39.7	309.5	1,395.9	2,481.8
	青森自動車道				475.6	0.2	0.0	475.8	10.6	78.5	397.3	497.0
高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	294.0	5.9	1.6	298.3	6.8	51.2	247.0	317.5
	秋田自動車道				2,514.7	4.5	1.6	2,517.6	52.6	440.1	2,077.4	3,266.6
高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	4,054.6	21.2	543.6	3,532.1	71.1	588.1	2,944.0	4,356.6
高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	5,696.7	61.9	17.8	5,740.8	120.6	946.1	4,794.7	7,223.0
高速自動車国道日本海沿岸北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	2,063.4	550.0	1.0	2,612.4	51.7	399.0	2,213.4	2,880.5
	秋田自動車道				410.6	0.7	0.1	411.2	11.2	83.2	328.0	444.6
高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	812.6	6.6	2.6	816.6	17.0	128.5	688.1	868.9
高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	9,396.1	40.7	5.4	9,431.3	176.6	1,338.4	8,092.9	14,207.0
高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	7,881.6	22.9	10.0	7,894.5	156.5	1,251.0	6,643.5	9,662.8
高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	256	S56-	82	1,751.9	0.8	0.2	1,752.5	36.5	308.0	1,444.5	2,232.6
	常磐自動車道				6,828.4	388.2	21.1	7,195.5	148.1	1,092.4	6,103.1	10,400.6
高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	1,706.4	8.2	1.8	1,712.8	31.9	230.3	1,482.4	1,988.5
高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	581.9	0.0	0.0	581.9	13.5	100.4	481.5	581.9
	東関東自動車道				3,565.4	10.7	3.0	3,573.1	71.1	522.7	3,050.3	5,473.1
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	5,435.0	18.9	6.8	5,447.1	92.5	561.5	4,885.5	5,692.4
高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(豊科ICを含まない。))(注4)	長野自動車道	43	H4	100	1,742.4	8.1	5.9	1,744.6	32.9	277.1	1,467.5	2,294.8
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道 北陸自動車道	205	S53-H9	100	7,027.9	29.5	2.2	7,055.2	152.3	1,169.3	5,885.8	10,408.0
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53-H9	100	54.8	0.1	0.0	55.0	1.4	13.0	41.9	106.0
計		3,303	—	—	93,487.7	1,669.1	680.2	94,476.6	1,991.1	14,920.8	79,555.7	129,562.3

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 全国路線網
【東日本高速網】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	1,285.3	0.6	2.8	1,283.1	16.4	134.2	1,148.9	1,674.3
一般国道6号 (東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	36.9	16.2	0.5	52.6	1.5	19.7	32.9	84.0
一般国道6号 (仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	610.1	41.8	3.9	648.0	12.1	97.3	550.7	812.2
一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	20.9	0.0	0.0	21.0	0.5	10.9	10.1	45.3
一般国道7号 (雫石能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	26.7	0.8	0.2	27.3	1.5	18.2	9.0	36.1
一般国道13号 (米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	26.7	0.1	0.0	26.8	0.9	10.4	16.4	45.0
一般国道13号 (湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	23.8	0.5	0.0	24.3	0.9	12.6	11.7	75.0
一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	2,934.9	9.8	1.5	2,943.3	45.7	368.2	2,575.1	4,055.8
一般国道16号 (横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	3,732.5	13.6	0.1	3,745.9	36.3	286.2	3,459.6	4,574.3
一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	33.1	5.9	0.9	38.1	1.2	12.8	25.3	59.4
一般国道45号 (百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	13.5	0.0	0.3	13.3	0.5	5.1	8.1	25.1
一般国道47号 (仙台北部道路)	仙台北部道路	11.8	H14-	87	60.7	13.1	1.6	72.3	2.9	19.6	52.7	80.0
一般国道126号 (千葉東金道路)	千葉東金道路	32.2	S53-H9	100	684.2	1.2	0.2	685.2	12.7	107.3	577.8	969.6
一般国道127号 (富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	61.6	1.8	1.1	62.3	3.8	34.0	28.3	90.4
一般国道233号 (深川・曹南自動車道(深川沼田道路))	深川曹南自動車道	4.4	H10	100	8.9	0.0	0.0	9.0	0.3	5.1	3.9	18.1
一般国道235号 (日高自動車道(苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	6.3	0.1	0.0	6.4	0.2	3.0	3.4	10.5
一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン 東京湾アクアライン連絡道	22.2	H7-9	100	10,275.2	5.1	1.1	10,279.2	263.4	2,006.5	8,272.6	12,571.6
一般国道468号 (東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道 (木更津東～木更津JCT)	7.1	H18-	14	91.2	0.3	0.2	91.3	2.8	16.5	74.8	91.3
一般国道466号 (第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	1,607.0	2.0	0.1	1,608.8	16.8	171.5	1,437.2	2,456.8
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (あきる野市から成田市まで(あきる野インターチェンジを含む。))	圏央道 (あきる野～大栗JCT)	71.4	H7-	47	2,027.6	11.2	1.5	2,037.4	48.2	325.6	1,711.7	2,258.6
計		372.6	—	—	24,216.9	125.9	16.8	24,325.9	483.3	3,772.6	20,553.2	30,816.8
会社計		3,676	—	—	117,704.6	1,795.0	697.1	118,802.6	2,474.4	18,693.5	100,109.0	160,379.1

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却部分を控除したものである。

注4) 高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-2 全国路線網
【中日本高速線】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	7,171.6	13.7	36.5	7,148.8	105.6	783.4	6,365.3	9,720.1
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	6,546.8	37.1	21.1	6,562.8	136.3	1,079.0	5,483.8	10,918.1
		名神高速道路				2,105.5	47.7	2.2	2,151.0	57.0	467.0	1,684.0	4,116.9
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(豊科ICを含む。)) (注4)	長野自動車道	33	S60-63	100	1,073.3	0.9	0.7	1,073.5	20.0	159.7	913.8	1,550.2
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	17,738.9	461.7	80.1	18,120.5	329.4	2,406.5	15,713.9	27,447.8
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	9,435.4	111.0	9.8	9,536.6	191.2	1,384.4	8,152.1	10,834.0
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	178	H9-	62	5,990.0	22,446.9	4.6	28,432.4	533.1	1,387.2	27,045.2	28,765.7
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	704.5	8.1	0.1	712.4	12.4	90.9	621.5	736.1
	高速自動車国道北陸自動車道(富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	6,499.2	94.7	86.6	6,507.3	152.8	1,177.2	5,330.0	11,155.6
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	1,658.7	16.3	1.0	1,674.0	35.6	287.6	1,386.4	2,330.5
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	6,909.0	35.5	6.6	6,937.9	168.1	1,099.9	5,837.9	9,228.8
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	5,391.1	1.0	0.0	5,392.1	101.7	709.6	4,682.4	5,666.7
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	803.1	339.4	0.8	1,141.7	17.8	97.6	1,044.0	1,141.9
	計		1,728	—	—	72,027.6	23,614.6	250.7	95,391.6	1,861.5	11,130.6	84,260.9	123,612.9
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	413.4	0.2	9.8	403.7	9.9	78.9	324.8	587.2
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	729.9	9.7	0.1	739.5	19.5	141.2	598.2	1,266.1
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	289.6	0.8	0.2	290.2	5.4	47.6	242.6	447.1
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S38	100	874.4	3.8	1.0	877.2	19.2	152.0	725.1	1,522.8
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6.1	S59-H9	100	2,362.8	0.6	0.0	2,363.5	58.6	448.1	1,915.3	2,947.4
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道(海老名~あきる野)	21.3	H19-	48	364.0	645.9	0.6	1,009.3	14.6	58.0	951.2	1,015.8
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79.0	H16-	53	906.6	87.2	0.8	993.1	34.1	242.1	750.9	1,011.0
	計		179.3	—	—	5,941.1	748.4	12.7	6,676.8	161.7	1,168.3	5,508.4	8,797.7
	会社計		1,907	—	—	77,968.8	24,363.0	263.4	102,068.4	2,023.3	12,299.0	89,769.4	132,410.6

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)高速自動車国道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 全国路線網
【西日本高速網】

[単位:億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	8,498.4	37.4	6.1	8,529.7	130.3	1,019.8	7,509.8	11,466.4
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道	56	S43-62	100	1,378.7	20.5	0.9	1,398.3	24.1	181.7	1,216.6	2,127.1
	近畿自動車道	3,469.4				19.0	0.8	3,487.7	74.1	524.4	2,963.2	5,038.2	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	2,765.1	2.2	0.4	2,766.9	52.4	265.1	2,501.7	2,768.8
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	4,955.5	34.3	0.6	4,989.2	102.2	707.3	4,281.8	6,498.3
	高速自動車国道近畿自動車道教養線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狹自動車道	123	S61-H23	100	3,310.0	20.8	1.1	3,329.8	70.4	498.4	2,831.3	4,176.6
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	11,021.1	73.9	5.6	11,089.4	234.4	1,841.2	9,248.1	18,631.3
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	18,025.5	75.4	12.4	18,088.5	343.2	2,719.6	15,368.9	24,107.8
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52	459.4	2.1	0.8	460.8	10.0	76.8	384.0	487.1
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道	107	H元-8	100	1,426.9	1.7	0.5	1,428.1	27.7	211.6	1,216.4	1,674.8
	米子自動車道	2,029.9				5.9	0.5	2,035.3	41.4	334.5	1,700.7	2,630.3	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道	26	H12-14	100	348.3	7.9	0.2	356.0	7.8	56.0	300.0	374.1
	山陰自動車道	1,056.3				0.2	0.4	1,056.1	21.2	127.9	928.1	1,096.2	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100								
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道	71	S59-H3	100	592.8	0.8	0.1	593.5	13.9	108.3	485.2	906.8
	浜田自動車道	882.5				1.4	0.0	883.9	17.8	141.7	742.1	1,233.1	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	2,911.3	22.2	0.3	2,933.3	52.1	426.5	2,506.7	3,463.0
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道				5,020.8	16.5	1.6	5,035.7	98.1	792.3	4,243.3	6,115.4
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道	198	S62-	93	3,885.5	12.5	1.9	3,896.0	76.2	623.6	3,272.4	4,755.7
		高知自動車道				4,441.2	5.5	0.4	4,446.3	91.2	682.4	3,763.9	5,293.5
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	9,407.3	53.5	6.5	9,454.3	195.6	1,541.1	7,913.2	14,460.6
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	1,159.4	9.5	1.5	1,167.5	28.9	229.9	937.5	2,051.7
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道	257	S57-H15	100	3,831.5	7.6	1.8	3,837.3	75.1	586.3	3,251.0	5,350.3
	大分自動車道	4,659.2				16.9	5.3	4,670.8	86.5	694.7	3,976.0	5,991.2	
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	141	H11-	69	4,305.3	290.6	2.8	4,593.1	83.4	566.8	4,026.3	4,851.9
	高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	656.6	0.6	0.2	657.0	10.3	78.8	578.2	795.5
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	566.8	8.8	0.4	575.2	22.1	168.4	406.8	1,304.1	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	1,555.4	14.0	1.7	1,567.7	27.0	217.7	1,350.0	2,462.0	
	計		2,979	—	—	102,621.5	763.2	56.2	103,328.4	2,018.9	15,423.9	87,904.5	140,113.2

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 全国路線網
【西日本高速株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価	
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	1,767.9	6.1	0.4	1,773.5	36.5	277.3	1,496.2	2,235.4	
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	2,385.2	32.6	1.3	2,416.5	46.5	198.3	2,218.2	2,446.6	
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	1,641.5	11.0	0.9	1,651.7	23.8	188.2	1,463.4	2,213.5	
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	820.2	0.7	0.1	820.8	10.7	89.9	730.9	1,058.3	
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	23.6	0.2	0.0	23.9	1.1	14.4	9.4	40.4	
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿兒島西))	南九州自動車道(鹿兒島道路)	21.3	H9-14	100	35.6	0.7	0.0	36.3	1.6	20.9	15.4	59.0	
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	43.9	0.3	0.0	44.2	1.6	26.7	17.4	70.1	
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	26.7	0.1	0.0	26.8	1.5	11.7	15.1	30.4	
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	167.1	0.0	0.0	167.1	3.0	28.3	138.8	238.9	
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	156.0	0.2	0.0	156.3	4.1	35.0	121.3	240.6	
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	21.7	0.0	0.0	21.7	1.0	14.4	7.2	30.8	
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	81.3	0.0	0.0	81.3	2.0	12.6	68.7	108.4	
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	121.9	0.3	0.0	122.2	2.4	20.2	102.0	163.3	
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	80.6	1.1	0.0	81.7	3.5	37.9	43.8	129.0	
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	609.0	4.0	0.2	612.8	9.4	75.6	537.1	773.9	
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	404.4	2.7	0.9	406.3	6.5	53.2	353.0	593.2	
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	146.2	3.2	0.1	149.3	4.9	43.6	105.7	213.1	
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	23.9	0.2	0.0	24.1	0.6	16.0	8.1	37.1	
	一般国道478号(京都縦貫自動車道(京都丹波道路))	京都縦貫自動車道(京都丹波道路)	31.3	S62-	76	556.6	19.4	3.7	572.3	12.2	100.2	472.1	794.9	
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	370.9	2.1	0.0	373.0	11.0	45.9	327.1	373.3	
	一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	437.9	0.5	0.0	438.4	9.5	72.8	365.5	642.5	
	一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	18.6	0.0	0.0	18.6	0.9	5.5	13.0	24.1	
		計		364.0	—	—	9,941.8	86.4	8.2	10,020.0	195.4	1,389.5	8,630.5	12,517.7
	会社計			3,343	—	—	112,563.3	849.6	64.4	113,348.5	2,214.4	16,813.4	96,535.1	152,630.9

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

2-1 地域路線網
【首都高速網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	301.3	S37-	93	64,646.5	1,494.8	208.7	65,932.6	1,333.3	9,290.7	56,641.8	84,514.3

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものである。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

2-2 地域路線網
【阪神高速網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	244.8	S39-	93	33,418.0	566.6	21.3	33,963.4	777.7	5,722.8	28,240.5	45,721.4
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	1,466.5	1.0	0.1	1,467.4	26.7	128.7	1,338.7	1,467.5
計		254.9	—	—	34,884.6	567.7	21.4	35,430.9	804.5	5,851.5	29,579.3	47,189.0

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものである。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

2-3 地域路線網
【本四高速網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸波路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	13,809.1	13.3	2.2	13,820.2	187.7	1,475.9	12,344.2	16,152.3
一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	6,331.9	15.1	2.1	6,344.9	96.4	719.3	5,625.6	8,241.1
一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	6,743.1	4.4	0.6	6,747.0	85.8	693.6	6,053.3	7,793.0
計		172.9	—	—	26,884.2	32.9	5.0	26,912.1	370.0	2,888.9	24,023.2	32,186.5

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものである。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 営業中高速道路の路線別資産額

3-1 一の路線

【中日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道16号 (八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	253.8	0.2	0.0	254.0	2.6	20.4	233.5	339.9
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道 (安房峠道路)	5.6	H9	100	34.3	0.1	0.1	34.2	2.2	18.6	15.5	59.3

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

3-2 一の路線

【西日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道31号 (広島県道路)	広島県道路	15.9	S49-H8	100	596.4	0.4	0.2	596.6	10.4	82.4	514.2	870.3
一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	232.9	0.7	0.0	233.6	6.4	48.7	184.8	244.0
一般国道201号 (八木山バイパス)	八木山バイパス	13.3	S59	100	198.5	1.5	0.0	200.0	4.7	35.6	164.4	326.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 高速道路の収支率(試算値)

[単位: 億円(消費税抜き)]

	料金収入(A)	費用			収支率 (D) / (A) × 100
		管理費(B)	金利(C)	計 (D) = (B) + (C)	
全国路線網	17,140.9	5,182.7	3,151.6	8,334.3	48.6%
東日本高速(株)所管分	6,421.7	1,953.5	1,267.4	3,220.9	50.2%
中日本高速(株)所管分	4,946.9	1,492.8	772.8	2,265.6	45.8%
西日本高速(株)所管分	5,772.3	1,736.4	1,111.3	2,847.7	49.3%
地域路線網					
首都高速道路	2,557.3	606.9	548.5	1,155.4	45.2%
阪神高速道路 (阪神圏)	1,669.3	383.1	393.7	776.8	46.5%
阪神高速道路 (京都圏)	34.6	14.4	16.7	31.1	89.9%
本州四国連絡 高速道路	639.5	181.0	225.1	406.1	63.5%
一の路線					
一般国道16号 (八王子バイパス)	21.3	4.6	0.7	5.3	24.8%
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安 房峠道路))	5.4	3.2	0.2	3.4	63.0%
一般国道31号 (広島呉道路)	32.7	8.8	2.4	11.2	34.3%
一般国道165号及び一 般国道166号 (南阪奈道路)	19.2	5.3	0.6	5.9	30.7%
一般国道201号 (八木山バイパス)	16.2	3.2	0.0	3.2	19.8%
計	22,136.9	6,394.4	4,339.7	10,344.1	—

注1)「料金収入」は高速道路会社の料金収入、「管理費」は高速道路会社の管理費、

「金利」は高速道路機構の支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)全国路線網の西日本高速道路(株)所管分の料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注3)管理費(B)の合計には平成24年4月1日に無料開放した西富士道路の料金所撤去費等(0.5億円)を含む。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 路線別営業収支差

1-1【東日本高速網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
全国路線網	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	111	313.8	169.4	144.3
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	60	121.7	75.4	46.3
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道							
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道・東北自動車道	698	S47-H5	100	406	1,685.7	405.5	1,280.2
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道・青森自動車道	97	S61-H15	100	11	37.2	27.9	9.3
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道・秋田自動車道	134	H3-14	100	18	61.5	40.9	20.6
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	26	65.5	38.1	27.4
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	25	148.1	86.3	61.8
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道・秋田自動車道	76	H13-21	100	32	45.5	30.6	14.9
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	5	6.4	5.9	0.5
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	204	764.2	197.9	566.3
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	63	303.7	114.2	189.5
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道・常磐自動車道	256	S56-	82	246	647.2	152.0	495.2
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	75	119.3	29.2	90.1
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道・東関東自動車道	87	S46-	78	186	427.8	83.0	344.8
	高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	77	236.1	59.7	176.4
	高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(豊科ICを含まない。)) (注4)	長野自動車道	43	H4	100	7	72.8	25.8	47.0
	高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	54	253.5	103.3	150.2
	高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	5	4.8	2.9	1.9
	高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	136	95.8	18.8
一般国道6号(東水戸道路)		東水戸道路	10.2	H8-11	100	16	10.6	6.3	4.3
一般国道6号(仙台東部道路)		仙台東部道路	24.8	H5-13	100	53	48.7	12.4	36.3
一般国道7号(秋田外環状道路)		秋田自動車道	9.5	H9	100	7	5.8	2.5	3.3
一般国道7号(琴丘能代道路)		秋田自動車道	17.1	H4-13	100	5	5.2	3.9	1.3
一般国道13号(米沢南陽道路)		米沢南陽道路	8.8	H9	100	4	3.1	2.0	1.1
一般国道13号(湯沢横手道路)		湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	7	5.9	4.1	1.8
一般国道14号(京葉道路)、一般国道16号(京葉道路)		京葉道路	36.7	S35-55	100	297	201.2	49.9	151.3
一般国道16号(横浜横須賀道路)		横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	108	198.8	48.6	150.2
一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))		三陸自動車道(仙塩道路)	7.8	H8	100	35	16.8	4.4	12.4
一般国道45号(百石道路)		百石道路	6.1	H6	100	5	1.9	1.6	0.3
一般国道47号(仙台北部道路)		仙台北部道路	11.8	H14-	87	15	13.6	3.0	10.6
一般国道126号(千葉東金道路)		千葉東金道路	32.2	S53-H9	100	56	54.8	21.3	33.5
一般国道127号(富津館山道路)		富津館山道路	19.2	H10-16	100	14	16.7	8.6	8.1
一般国道233号(深川・留萌自動車道(深川沼田道路))		深川留萌自動車道	4.4	H10	100	2	0.7	1.1	△ 0.4
一般国道235号(日高自動車道(苫東道路))		日高自動車道	4.0	H9	100	5	2.0	0.9	1.1
一般国道409号(東京湾アクアライン・東京湾アクアライン連絡道)		東京湾アクアライン・東京湾アクアライン連絡道	22.2	H7-9	100	73	144.3	42.9	101.4
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)		圏央道(木更津東～木更津JCT)	7.1	H18-	14				
一般国道466号(第三京浜道路)		第三京浜道路	16.6	S39-40	100	153	88.2	27.6	60.6
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道(あきる野市から成田市まで(あきる野インターチェンジを含む。))		圏央道(あきる野～大栄JCT)	71.4	H7-	47	88	190.9	43.7	147.2
計			3,676	—	—	2,692	6,421.7	1,953.5	4,468.2

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4) 高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 路線別営業収支差

1-2【中日本高速網】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
全国路線網	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	177	364.8	98.9	265.8
	高速自動車国道中央自動車道西宮線(大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道・名神高速道路	360	S39-57	100	176	804.2	286.1	518.0
	高速自動車国道中央自動車道長野線(岡谷市から安曇野市まで(豊科ICを含む。)) ^(注4)	長野自動車道	33	S60-63	100	39	80.5	24.8	55.7
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	423	1,468.6	385.8	1,082.8
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	56	168.9	90.8	78.1
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	178	H9-	62	155	547.9	125.4	422.4
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	3	3.6	4.2	△ 0.6
	高速自動車国道北陸自動車道(富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	108	431.2	187.0	244.1
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	37	108.8	34.1	74.7
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	267	425.2	114.6	310.5
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	57	118.1	23.8	94.3
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	4	11.2	6.1	5.0
	高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	29	20.3	8.5
一般国道1号(西湘バイパス)		西湘バイパス	14.5	S45-46	100	43	24.6	14.8	9.8
一般国道138号(東富士五湖道路)		東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	24	29.4	8.6	20.8
一般国道271号(小田原厚木道路)		小田原厚木道路	31.7	S38	100	71	54.9	21.7	33.2
一般国道302号(伊勢湾岸道路)		伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6.1	S59-H9	100	93	154.6	18.1	136.4
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))		圏央道(海老名~あきる野)	21.3	H19-	48	15	35.6	8.7	26.9
一般国道475号(東海環状自動車道)(豊田市から四日市市まで)		東海環状自動車道	79.0	H16-	53	50	93.4	29.7	63.6
計(全国路線網)			1,907	-	-	1,826	4,946.9	1,492.8	3,454.0
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	33	21.3	4.6	16.6
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	3	5.4	3.2	2.1
総計			1,917	-	-	1,862	4,973.7	1,501.4	3,472.3

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5)管理費の総計には平成24年4月1日に無料開放した西富士道路の料金所撤去費等(0.5億円)を含む

注6)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 路線別営業収支差

1-3 【西日本高速網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)	
全国路線網	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	175	613.5	139.1	474.4	
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道・近畿自動車道	56	S43-62	100	295	388.7	82.2	306.4	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	12	76.9	20.5	56.3	
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	195	309.6	85.7	223.8	
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	24	83.5	43.8	39.7	
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	138	603.7	252.2	351.5	
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	243	938.5	271.2	667.3	
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52					
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道・米子自動車道	107	H元-8	100	10	63.7	34.8	28.8	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道・山陰自動車道	26	H12-14	100	12	21.2	14.0	7.1	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100					
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道・浜田自動車道	71	S59-H3	100	30	32.9	20.7	12.1	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道								
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道	237	S59-H16	100	63	205.5	74.9	130.5	
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道・高知自動車道	198	S62-	93	101	225.7	89.8	135.9	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	241	826.3	192.6	633.6	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	16	58.9	19.7	39.2	
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道・大分自動車道	257	S57-H15	100	111	360.7	110.3	250.3	
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	141	H11-	69	36	61.0	29.6	31.3	
	高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	11	8.7	3.8	4.9	
	高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	19	19.8	6.9	12.8	
	高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	89	110.4	33.4	77.0	
	高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	71	131.1	25.8	105.2
		一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	119	203.6	32.1	171.5
		一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	196	99.8	34.5	65.3
		一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	46	36.8	8.3	28.5
一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))		南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	5	4.8	2.7	2.0	
一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来～鹿児島西))		南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	23	16.0	5.4	10.6	
一般国道9号(安来道路)		山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	12	17.0	6.4	10.6	
一般国道9号(江津道路)		山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	3	3.1	3.1	△0.0	
一般国道10号(椎田道路)		椎田道路	10.3	H2	100	7	8.2	2.0	6.2	
一般国道10号(宇佐別府道路)		宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	12	17.5	8.7	8.8	
一般国道10号(日出バイパス)		日出バイパス	9.0	H13	100	4	3.1	1.2	1.8	
一般国道10号(延岡南道路)		延岡南道路	3.7	H元	100	9	6.0	2.0	3.9	
一般国道10号(隼人道路)		隼人道路	7.3	H3	100	16	8.9	2.6	6.3	
一般国道11号(高松東道路)		高松自動車道	15.6	H9-12	100	22	25.1	8.5	16.6	
一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))		京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	44	28.8	11.6	17.2	
一般国道34号(長崎バイパス)		長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	43	22.2	6.8	15.4	
一般国道42号(湯浅御坊道路)		湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	24	28.3	11.8	16.5	
一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))		今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	7	5.1	3.8	1.2	
一般国道478号(京都縦貫自動車道)		京都縦貫自動車道(京都丹波道路)	31.3	S62-	76	46	45.2	18.6	26.5	
一般国道481号(関西国際空港連絡橋)		関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	10	19.0	3.2	15.8	
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	24	21.4	6.9	14.5		
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	29	10.3	3.2	7.0		
計(全国路線網)			3,343	—		2,596	5,772.3	1,736.4	4,035.9	

平成24年度(2012年度) 路線別営業収支差

1-3 【西日本高速㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A) - (B)
一の路線	一般国道31号(広島県道路)	広島県道路	15.9	S49-H8	100	40	32.7	8.8	23.8
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	22	19.2	5.3	13.8
	一般国道201号(八木山バイパス)	八木山バイパス	13.3	S59	100	12	16.2	3.2	13.0
総 計			3,384	-	-	2,671	5,840.6	1,753.8	4,086.7

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 路線別営業収支差

1-4 【首都高速圏】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
都道首都高速1号線 等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線 等	301.3	S37-	93	949	2,557.3	606.9	1,950.4

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、首都高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【阪神高速圏】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
大阪府道高速大阪池田線 等	1号環状線・11号池田線 等	244.8	S39-	93	697	1,669.3	383.1	1,286.2
京都市道高速道路1号線 等	新十条通 等	10.1	H19-H22	100	27	34.6	14.4	20.2
計		254.9	—	—	724	1,704.0	397.6	1,306.4

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、阪神高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【本四高速圏】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	23	335.6	82.6	252.9
一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	20	194.7	46.6	148.1
一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	7	109.0	51.7	57.3
計		172.9	—	—	50	639.5	181.0	458.4

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)本四高速圏の交通量は県境断面交通量である。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-1 全国路線網

【東日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	144.3	40.9	7,840.4	104.3
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	46.3	13.1	1,469.8	19.5
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道						3,729.4	49.6
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	1,280.2	363.1	2,712.5	36.1
		東北自動車道						9,137.7	121.6
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	9.3	2.6	1,395.9	18.5
		青森自動車道						397.3	5.2
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	20.6	5.8	247.0	3.2
		秋田自動車道						2,077.4	27.6
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	27.4	7.7	2,944.0	39.1
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	61.8	17.5	4,794.7	63.8
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	14.9	4.2	2,213.4	29.4
		秋田自動車道						328.0	4.3
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	0.5	0.1	688.1	9.1
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	566.3	160.6	8,092.9	107.7
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	189.5	53.7	6,643.5	88.4
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	256	S56-	82	495.2	140.4	1,444.5	19.2
		常磐自動車道						6,103.1	81.2
高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	90.1	25.5	1,482.4	19.7	
高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	344.8	97.8	481.5	6.4	
	東関東自動車道						3,050.3	40.5	
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	176.4	50.0	4,885.5	65.0	
高速自動車国道中央自動車道長野線 (安曇野市から千曲市まで(豊科ICを含まない。))(注4)	長野自動車道	43	H4	100	47.0	13.3	1,467.5	19.5	
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	150.2	42.6	5,885.8	78.3	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	1.9	0.5	41.9	0.5	

1-1 全国路線網

【東日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	77.0	21.8	1,148.9	15.2
	一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	4.3	1.2	32.9	0.4
	一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	36.3	10.2	550.7	7.3
	一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	3.3	0.9	10.1	0.1
	一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	1.3	0.3	9.0	0.1
	一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	1.1	0.3	16.4	0.2
	一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	1.8	0.5	11.7	0.1
	一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	151.3	42.9	2,575.1	34.2
	一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	150.2	42.6	3,459.6	46.0
	一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	12.4	3.5	25.3	0.3
	一般国道45号(百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	0.3	0.0	8.1	0.1
	一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	11.8	H14-	87	10.6	3.0	52.7	0.7
	一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路	32.2	S53-H9	100	33.5	9.5	577.8	7.6
	一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	8.1	2.2	28.3	0.3
	一般国道233号 (深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4.4	H10	100	△ 0.4	△ 0.1	3.9	0.0
	一般国道235号(日高自動車道 (苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	1.1	0.3	3.4	0.0
	一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン	22.2	H7-9	100	101.4	28.7	8,272.6	45.2
		東京湾アクアライン連絡道						542.2	7.2
	一般国道468号(東京湾横断・ 木更津東金道路)	圏央道 (木更津東～木更津JCT)	7.1	H18-	14			74.8	0.9
	一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	60.6	17.1	1,437.2	19.1
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道 (あきる野市から成田市まで(あきる野インターチェンジを含む。))	圏央道 (あきる野～大栄JCT)	71.4	H7-	47	147.2	41.7	1,711.7	22.7	
計			3,676	—	—	4,468.2	1,267.4	100,109.0	1,267.4

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-2 全国路線網
【中日本高速株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長 (km)	開通 年度	開通率 (%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利 (試算)	資産価額	金利 (試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道 富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	265.8	59.4	6,365.3	54.7
	高速自動車国道中央自動車道 西宮線 (大月市から東近江市まで(八日 市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	518.0	115.9	5,483.8	47.2
		名神高速道路						1,684.0	14.4
	高速自動車国道中央自動車道 長野線 (岡谷市から安曇野市まで(豊科 ICを含む。)) (注4)	長野自動車道	33	S60-63	100	55.7	12.4	913.8	7.8
	高速自動車国道第一東海自動車 道	東名高速道路	347	S43-44	100	1,082.8	242.3	15,713.9	135.2
	高速自動車国道東海北陸自動車 道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	78.1	17.4	8,152.1	70.1
	高速自動車国道第二東海自動車 道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢 湾岸自動車道(豊田東 JCT~東海)	178	H9-	62	422.4	94.5	27,045.2	232.8
	高速自動車国道中部横断自動車 道	中部横断自動車道	16	H13-	34	△ 0.6	△ 0.1	621.5	5.3
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米 原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	244.1	54.6	5,330.0	45.8
	高速自動車国道近畿自動車道 伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	74.7	16.7	1,386.4	11.9
	高速自動車国道近畿自動車道 名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古 屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	310.5	69.4	5,837.9	50.2
	高速自動車国道近畿自動車道 名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀 市まで(甲賀土山ICを含まな い。))	伊勢湾岸自動車道(飛 島~四日市JCT)・新 名神高速道路	32	H11-	50	94.3	21.1	4,682.4	40.3
高速自動車国道近畿自動車道 尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	5.0	1.1	1,044.0	8.9	
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	11.8	2.6	324.8	2.7
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	9.8	2.1	598.2	5.1
	一般国道138号(東富士五湖道 路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	20.8	4.6	242.6	2.0
	一般国道271号(小田原厚木道 路)	小田原厚木道路	31.7	S38	100	33.2	7.4	725.1	6.2
	一般国道302号(伊勢湾岸道 路)	伊勢湾岸自動車道(東 海~飛島)	6.1	S59-H9	100	136.4	30.5	1,915.3	16.4
	一般国道468号(首都圏中央連 絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋 まで及び海老名市中新田からあ きる野市まで(あきる野ICを含ま ない。))	圏央道 (海老名北~あきる 野)	21.3	H19-	48	26.9	6.0	951.2	8.1
	一般国道475号 (東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79.0	H16-	53	63.6	14.2	750.9	6.4
計			1,907	—	—	3,454.0	772.8	89,769.4	772.8

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 全国路線網
【西日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	474.4	130.6	7,509.8	86.4
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道	56	S43-62	100	306.4	84.4	1,216.6	14.0
	近畿自動車道	2,963.2						34.1	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	56.3	15.5	2,501.7	28.8
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	223.8	61.6	4,281.8	49.2
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	39.7	10.9	2,831.3	32.5
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	351.5	96.8	9,248.1	106.4
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	667.3	183.8	15,368.9	176.9
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52			384.0	4.4
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道	107	H元-8	100	28.8	7.9	1,216.4	14.0
	米子自動車道	1,700.7						19.5	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道	26	H12-14	100	7.1	1.9	300.0	3.4
	山陰自動車道	928.1						10.6	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道	71	S59-H3	100	12.1	3.3	485.2	5.5
	浜田自動車道	742.1						8.5	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	130.5	35.9	2,506.7	28.8
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道						4,243.3	48.8
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道	198	S62-	93	135.9	37.4	3,272.4	37.6
	高知自動車道	3,763.9						43.3	
高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	633.6	174.5	7,913.2	91.1	
高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	39.2	10.7	937.5	10.7	
高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道	257	S57-H15	100	250.3	68.9	3,251.0	37.4	
大分自動車道	3,976.0						45.7		
高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	141	H11-	69	31.3	8.6	4,026.3	46.3	
高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	4.9	1.3	578.2	6.6	
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	12.8	3.5	406.8	4.6	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	77.0	21.2	1,350.0	15.5	

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 全国路線網
【西日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	105.2	28.9	1,496.2	17.2
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	171.5	47.2	2,218.2	25.5
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	65.3	17.9	1,463.4	16.8
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	28.5	7.8	730.9	8.4
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	2.0	0.5	9.4	0.1
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	10.6	2.9	15.4	0.1
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	10.6	2.9	17.4	0.2
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	△0.0	△0.0	15.1	0.1
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	6.2	1.7	138.8	1.5
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	8.8	2.4	121.3	1.3
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	1.8	0.4	7.2	0.0
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	3.9	1.0	68.7	0.7
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	6.3	1.7	102.0	1.1
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	16.6	4.5	43.8	0.5
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	17.2	4.7	537.1	6.1
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	15.4	4.2	353.0	4.0
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	16.5	4.5	105.7	1.2
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	1.2	0.3	8.1	0.0
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道(京都丹波道路)	31.3	S62-	76	26.5	7.3	472.1	5.4
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	15.8	4.3	327.1	3.7
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	14.5	3.9	365.5	4.2	
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	7.0	1.9	13.0	0.1	
計			3,343	—	—	4,035.9	1,111.3	96,535.1	1,111.3

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

2-1 地域路線網

【首都高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	301.3	S37-	93	1,950.4	548.5	56,641.8	548.5

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3) 営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

2-2 地域路線網

【阪神高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	244.8	S39-	93	1,286.2	393.7	28,240.5	393.7
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	20.2	16.7	1,338.7	16.7
計		254.9	—	—	1,306.4	410.5	29,579.3	410.5

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3) 営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

2-3 地域路線網

【本四高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	252.9	124.2	12,344.2	115.6
一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	148.1	72.7	5,625.6	52.7
一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	57.3	28.1	6,053.3	56.6
計		172.9	—	—	458.3	225.1	24,023.2	225.1

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。

注2) 路線ごとの「金利」は、本四高速道路の負担金利額をそれぞれ営業収支差、資産価額により按分して配賦したものである。

注3)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注4) 営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注5) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 金利の路線別配賦(試算値)

3-1 一の路線 【中日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一般国道16号 (八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	16.6	0.7	233.5	0.7
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道 (安房峠道路)	5.6	H9	100	2.1	0.2	15.5	0.2

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。
 注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4)一の路線は各道路毎に償還されるため金利は個別に算出している。
 注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

3-2 一の路線 【西日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一般国道31号 (広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	23.8	2.4	514.2	2.4
一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	13.8	0.6	184.8	0.6
一般国道201号 (八木山バイパス)	八木山バイパス	13.3	S59	100	13.0	0.0	164.4	0.0

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。
 注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4)一の路線は各道路毎に償還されるため金利は個別に算出している。
 注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度) 建設コストの計画と実績

平成24年度に会社から引き受けた債務について、債務引受限度額との対比を下記に示します。
 平成24年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、①土質・地質条件等の変更、②競争入札による落札差金の発生、③地権者、関係機関などへの提案及び協議、④現場特有の状況に対応するための創意工夫及び⑤新たな技術の採用によるものです。
 平成24年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では付帯事業等の工事が平成25年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が平成25年度以降計画的に実施されること、修繕事業では工事発注の見直しで複数年度の工期に設定したことにより機構への帰属を平成25年度以降としたこと、災害復旧事業では安全性を考慮し過去の実績をもとに、45年分の額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額についてのコメント
			平成23年度まで (B)	平成24年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
東日本 高速道路 路線	北海道縦貫自動車道函館名寄線 大沼公園IC～落部IC新設事業	45,118	25,537	13,468	39,005	△ 6,112	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線 落部IC～八雲IC新設事業	7,075	5,700	1,094	6,794	△ 280	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	北海道横断自動車道黒松内釧路線 占冠IC～トマムIC新設事業	53,294	51,079	1,526	52,605	△ 688	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	常磐自動車道 常磐富岡IC～相馬IC新設事業	90,824	0	21,025	21,025	△ 69,798	常磐富岡IC～相馬ICのうち南相馬IC～相馬IC間を部分供用し、常磐富岡IC～南相馬IC間の本体工事はまだ施工中であるため。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線 黒松内JCT新設事業	1,530	1,242	218	1,461	△ 68	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	北海道横断自動車道黒松内釧路線 由仁PA新設事業	1,017	834	104	939	△ 77	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	東北縦貫自動車道弘前線 矢板IC(上り線)改築事業	2,084	1,182	168	1,350	△ 733	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	東北縦貫自動車道弘前線 白石IC～仙台南IC改築事業	2,288	1,360	31	1,391	△ 896	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	東北横断自動車道釜石秋田線 東和IC改築事業	1,021	0	475	475	△ 545	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	関越自動車道新潟線 鶴ヶ島JCT改築事業	3,253	2,197	400	2,598	△ 654	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	東関東自動車道水戸線 三郷JCT(二次改築)改築事業	21,372	0	2,204	2,204	△ 19,167	三郷JCTランプ拡幅に伴う部分引渡であり、本体工事は施工中であるため。
	一般国道16号(横浜横須賀道路) 馬堀海岸IC～佐原IC新設事業	24,450	22,318	1,453	23,772	△ 677	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) つくば中央IC～つくばJCT新設事業	2,268	1,732	429	2,161	△ 106	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	東日本高速道路株式会社が管理する高速道路 に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	51,284	5,545	1,198	6,744	△ 44,539	H24年度は2箇所の工事の一部引渡しを行っており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
	一般国道6号(仙台東部道路) 仙台港IC新設事業	1,271	0	958	958	△ 312	仙台港IC新設は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成24年度修繕事業	46,901	-	33,071	33,071	△ 13,830	平成23年3月11日に発生した東日本大震災における復旧事業の優先実施により、機材引渡し時期を次年度以降に見直ししたこと等による。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	128,401	35,725	59,047	94,772	△ 33,629	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績を基に45年分の額を債務引受限度額として設定している。平成24年度は、平成21年9月・平成22年5月・平成24年5月及び6月の異常降雨等に伴い発生したり面災害、平成23年9月の台風15号に伴い発生したり面災害の一部、平成23年3月の東日本大震災に関する復旧工事の引渡しを行った。	
中日本 高速道路 路線	第二東海自動車道横浜名古屋線 御殿場JCT～長泉沼津IC新設事業	149,403	0	127,858	127,858	△ 21,544	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、付帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	第二東海自動車道横浜名古屋線 長泉沼津IC～浜松いなさJCT新設事業	1,019,303	104	897,860	897,965	△ 121,337	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、付帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中部横断自動車道 六郷IC～増穂IC新設事業	74,373	0	887	887	△ 73,485	本線工事の完成は平成28年度を予定している。平成24年度は増穂ICを一部施工し、引渡しを行っている。
	近畿自動車道尾鷲多気線 紀伊長島IC～紀勢大内山IC新設事業	52,070	0	37,838	37,838	△ 14,231	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、付帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道西宮線 養老JCT(北側)新設事業	12,327	0	9,081	9,081	△ 3,245	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
第一東海自動車道 海老名JCT～海老名IC改築事業	41,488	35,387	1,897	37,284	△ 4,203	海老名IC～相模原愛川ICの開通に合わせて一部を完成し供用を開始しているが、財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。	

注1)平成24年度(2012年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成24年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成24年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成23年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成23年度まで (B)	平成24年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中日本高速道路株式会社	東海北陸自動車道 郡上八幡IC～ぎふ大和IC改築事業	13,401	10,375	1,372	11,747	△ 1,653	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	近畿自動車道名古屋亀山線 勝川IC改築事業	940	98	421	520	△ 419	ICの改築事業は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 海老名IC～相模原愛川IC新設事業	102,382	0	61,945	61,945	△ 40,436	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 厚木PA新設事業	6,880	0	2,298	2,298	△ 4,581	厚木PA(上り線)の完成は平成25年度を予定している。平成24年度は厚木PA(下り線)を一部完成し、引渡しを行っている。
	北陸自動車道 白山IC新設事業	1,203	0	1,039	1,039	△ 163	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	51,967	546	969	1,516	△ 50,450	H24年度は3箇所の工事の一部引渡しを行っており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 大垣西IC～養老JCT新設事業	1,681	0	1,177	1,177	△ 503	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道富士吉田線等 平成24年度修繕事業	42,807	-	31,784	31,784	△ 11,022	工事発注時期の見直しや台風の影響に伴う工事遅延等による引渡時期を次年度以降に変更したこと等による。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	50,122	13,552	1,118	14,670	△ 35,451	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引渡限度額として設定している。平成24年度は、平成23年及び24年の台風で被災した箇所の一部引渡しを行った。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成24年度修繕事業	63	-	32	32	△ 31	点検結果等により、補修実施時期を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路)) 平成24年度修繕事業	290	-	16	16	△ 274	点検結果等により、補修実施時期を次年度以降に見直したこと等による。
	西日本高速道路株式会社	近畿自動車道名古屋神戸線 箕面IC～神戸JCT新設事業	439,718	0	2,865	2,865	△ 436,852
近畿自動車道敦賀線 小浜西IC～小浜IC新設事業		34,746	32,254	1,746	34,000	△ 745	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
四国横断自動車道阿南四万十線 徳島IC～鳴門JCT新設事業		106,904	0	2,188	2,188	△ 104,715	本体工事施工のための既設徳島ICの切替えに伴う部分引渡であり、本体工事はまだ施工中であるため。
東九州自動車道 都農IC～高鍋IC新設事業		22,730	0	20,158	20,158	△ 2,571	本線工事は、完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
近畿自動車道天理吹田線 門真JCT新設事業		45,537	42,400	1,030	43,430	△ 2,106	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
中国縦貫自動車道 三次JCT改築事業		3,746	0	3,183	3,183	△ 562	JCT新設は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事、完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
中国横断自動車道岡山米子線 久世IC～上野PA改築事業		8,768	8,381	237	8,619	△ 148	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
中国横断自動車道尾道松江線 三刀屋木次IC改築事業		847	771	2	773	△ 73	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
中国横断自動車道尾道松江線 加茂岩倉PA新設事業		1,373	0	953	953	△ 419	PA新設は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事、完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
四国縦貫自動車道 松山IC改築事業		2,267	0	623	623	△ 1,643	IC改築施工のための既設松山ICの切替えに伴う部分引渡であり、IC改築工事はまだ施工中であるため。
四国横断自動車道愛南大洲線 西予宇和IC改築事業		466	411	7	418	△ 47	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
九州縦貫自動車道宮崎線 清武JCT改築事業		5,962	0	4,655	4,655	△ 1,306	JCT新設は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
一般国道1号(第二京阪道路) 枚方東IC～門真JCT新設事業		104,621	99,441	3,848	103,290	△ 1,330	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
一般国道478号(京都縦貫自動車道) 沓掛IC～大山崎IC・JCT新設事業		57,075	2,844	1,457	4,301	△ 52,773	本体工事施工のための既設沓掛ICの切替えに伴う部分引渡であり、本体工事はまだ施工中であるため。
西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)		52,058	1,331	635	1,966	△ 50,091	平成24年度は大和まほろばスマートICの一部が供用を開始しており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
山陽自動車道宇部下関線 宇部TB改築事業		637	533	3	537	△ 99	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。

注1) 平成24年度(2012年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成24年度に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成24年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成23年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成23年度まで (B)	平成24年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
西日本 高速道路 路線	中央自動車道西宮線等 平成24年度修繕事業	46,261	-	42,569	42,569	△ 3,692	対外協議等により、補修実施時期を次年度以降に見直した こと等による。
	中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	49,132	6,323	1,183	7,506	△ 41,625	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績 をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。 H23年度台風15号やH24年度梅雨期豪雨で被災した箇所 の引渡しを行った。
	一般国道31号(広島呉道路) 平成24年度修繕事業	1,087	-	50	50	△ 1,036	対外協議等により、補修実施時期を次年度以降に見直した こと等による。
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈 道路) 平成24年度修繕事業	135	-	78	78	△ 56	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	一般国道201号(八木山バイパス) 平成24年度修繕事業	1,430	-	164	164	△ 1,265	対外協議等により、補修実施時期を次年度に見直したこと等 による。
首都 高速道路 路線	都道首都高速品川目黒線 大井JCT～大橋JCT新設事業	184,876	385	1,756	2,142	△ 182,733	本線工事は平成26年度内の完成を予定している。平成24年 度は、本線工事に伴う湾岸線大井PAの移設が完了し供用開 始した。
	横浜市道高速横浜環状北線 港北JCT～生麦JCT新設事業	365,833	0	6,219	6,219	△ 359,613	本線工事は平成28年度内の完成を予定している。平成24年 度は、本線工事に伴う生麦入口の移設が完了し、供用開始 した。
	首都高速道路 東京地区(防災・安全対策)改築事業	121,174	1,705	96,128	97,833	△ 23,340	平成24年度は改築事業の一部が完了。残事業は平成25年 度までに完成予定。
	首都高速道路 埼玉地区(防災・安全対策)改築事業	2,924	0	2,791	2,791	△ 132	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	首都高速道路 千葉地区(防災・安全対策)改築事業	5,273	0	5,225	5,225	△ 47	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	首都高速道路 横浜地区(防災・安全対策)改築事業	21,310	0	20,967	20,967	△ 342	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	首都高速道路 川崎地区(防災・安全対策)改築事業	3,826	0	3,663	3,663	△ 162	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	首都高速道路 さいたま地区(防災・安全対策)改築事業	677	0	671	671	△ 5	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	都道首都高速1号線等 平成24年度修繕事業	22,832	-	16,273	16,273	△ 6,558	修繕事業の一部工事において、工期を見直したことによる。
	都道首都高速1号線等 災害復旧事業	5,210	1,140	209	1,349	△ 3,860	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績 をもとに40年分の額を債務引受限度額として設定している。 平成24年度は、平成23年8月11日に発生した東日本大震 災に関わる復旧工事が完了した。
阪神 高速道路 路線	大阪府道高速大和川線 三宅西出入口～三宅中新設事業	1,731	0	1,131	1,131	△ 599	本線工事は、完成供用を開始しているが、開通後も附帯工 事や完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要がある こと等による。
	神戸市道高速道路2号線 神戸長田出入口～湊川JCT新設事業	67,720	58,675	7,499	66,174	△ 1,545	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
	神戸市道生田川箕谷線 新神戸トンネル新設事業	36,841	0	36,790	36,790	△ 50	間接費の確定により差額が生じたもの。
	大阪府道高速大阪池田線等 平成24年度修繕事業	15,798	-	8,568	8,568	△ 7,229	修繕事業の一部工事において、工期を見直したことによる。
	京都市道高速道路1号線等 平成24年度修繕事業	123	-	117	117	△ 5	工事等数量の確定等により差額が生じたもの。
遠東 幹線高 速道路	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門 ルート))等 平成24年度修繕事業	8,298	-	3,662	3,662	△ 4,636	修繕事業の一部工事において、工期を見直したことによる。
	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門 ルート))等 災害復旧事業	9,572	16	72	89	△ 9,482	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績 をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。 平成24年度は、平成23年9月の台風12号等に伴い発生した り面災害に関わる復旧工事の一部引渡しを行った。

注1) 平成24年度(2012年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成24年度に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成24年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成23年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。(一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)平成24年度修繕事業及び京都市道高速道路1号線等平成24年度修繕事業を除く)

平成24年度(2012年度) 管理コストの計画と実績(高速道路会社情報の総括)

【維持修繕費】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	669	809	140	120.9%	694	点検結果等に基づく補修の増、大雪による雪氷対策費用の増、トンネル緊急点検等による増等
中日本高速道路(株)	488	619	131	126.8%	546	点検結果等に基づく補修の増、トンネル緊急点検等による増等
西日本高速道路(株)	564	702	138	124.5%	666	点検結果等に基づく補修の増、トンネル緊急点検等による増、大雪による雪氷対策費用の増等
首都高速道路(株)	257	262	4	101.7%	242	トンネル緊急点検等による増
阪神高速道路(株)	139	146	6	105.0%	152	点検結果等に基づく補修の増、トンネル緊急点検等による増等
本四高速道路(株)	40	49	9	122.8%	50	点検結果等に基づく補修の増、トンネル緊急点検等による増等

【管理業務費】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	519	498	△ 21	96.0%	481	営繕補修箇所等の減等
中日本高速道路(株)	348	342	△ 6	98.3%	325	料金収受業務の精査等
西日本高速道路(株)	463	447	△ 16	96.5%	444	営繕補修箇所等の減等
首都高速道路(株)	191	192	△ 1	100.6%	190	クレジットカード手数料の減、営繕補修箇所の増等
阪神高速道路(株)	135	126	△ 9	92.9%	125	クレジットカード手数料の減等
本四高速道路(株)	40	39	△ 0	99.0%	39	-

【一般管理費等】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	729	645	△ 84	88.5%	600	ETCマイレージ割引費用の減(34億円)、料金収受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
中日本高速道路(株)	610	541	△ 69	88.7%	517	ETCマイレージ割引費用の減(20億円)、支払利息の減等
西日本高速道路(株)	723	605	△ 117	83.7%	602	ETCマイレージ割引費用の減(61億円)、料金収受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
首都高速道路(株)	169	152	△ 18	89.7%	148	ETC普及促進費用の減等
阪神高速道路(株)	137	125	△ 12	90.9%	149	ETCマイレージ割引費用の減(4億円)等
本四高速道路(株)	94	91	△ 2	98.0%	91	-

【合計】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	平成24年度 計画(A)	平成24年度 実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	1,917	1,953	36	101.9%	1,775	
中日本高速道路(株)	1,446	1,502	56	103.9%	1,388	
西日本高速道路(株)	1,750	1,754	5	100.2%	1,712	
首都高速道路(株)	618	606	△ 12	98.1%	581	
阪神高速道路(株)	412	397	△ 15	96.3%	427	
本四高速道路(株)	174	181	7	103.9%	181	

注1)「一般管理費等」にはETCマイレージの割引費用等を含む。(首都高速(株)はETCマイレージサービスは実施していない。)

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成24年度(2012年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

会社	本線渋滞損失時間(単位:万台・時/年)			コメント
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	604	659	686	LED情報板での速度回復情報提供等による渋滞緩和対策を実施したものの、都心部の交通量増加による交通集中渋滞の増加や、大型商業施設開業の影響によるアクアラインの交通集中渋滞の増加により、目標を達成できなかった。
中日本 高速道路㈱	1,208	1,037	1,126	新東名高速道路の新規供用及び東名高速道路岡崎地区の暫定3車線運用などの効果により、平成23年度実績より減少したものの、東名阪自動車道四日市地区における暫定3車線工事等の車線規制増加により、目標を達成できなかった。
西日本 高速道路㈱	526	486	469	休日特別割引(上限1,000円)無料化社会実験の終了の影響から交通量が減少したことに加え、阪和道(海南～有田)の四車線化及び、工事規制期間の短縮等の取り組みにより、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	2,410	2,300	2,460	標識・区画線等の改善による交通流の円滑化等の取組みを実施したが、八重洲線通行止め(H24.7～)の影響による渋滞が想定以上に発生したため、目標を達成できなかった。 (H23年度実績は東京線のみ値として2,310万台・時/年と公表していたが、H24.1の距離別料金移行に伴い料金圏がなくなったためH24年度からは全線の値としている。)
阪神 高速道路㈱	419	415	449	新神戸トンネルの移管に伴うネットワークの拡充や所要時間傾向表示板による情報提供の拡充等により、本線渋滞損失時間の減少に努めた。しかし、距離料金への移行により、環境ロードプライシングによる割引が受けられる3号神戸線と5号湾岸線の乗り継ぎ車両が増加したこと等による交通集中渋滞が増加したために目標値を達成できなかった。
本四 高速道路㈱	4	4	4	繁忙期間の渋滞予測による情報提供、サグ渋滞箇所の標識による速度低下注意喚起及び繁忙期間の路上工事抑制等を実施し、交通集中による渋滞の低減に努めたことにより、目標を達成した。

会社	路上工事時間(単位:時間/km・年)			コメント
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	66 (54)	— (60)	92 (59)	工事規制の統合を考慮した発注計画の立案、工事工程の調整等により工事規制時間の削減に努め、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	67 (59)	67 (59)	75 (67)	集中工事による工事の集約化を図ったところではあるが、車線規制を伴う橋梁補修工事及び舗装補修工事が平成23年度より増加したこと、また、災害復旧工事、点検及び事故対策等の実施に伴い、目標を達成できなかった。
西日本 高速道路㈱	77 (71)	77 (70)	89 (79)	集中工事区間の拡大、複数工事の規制調整・集約などの取り組みを行ったが、老朽化した道路構造物に対する補修工事をこれまで以上の規模で実施したこと及びトンネル内の緊急点検等の実施により、工事規制が増加したため、目標を達成できなかった。
首都 高速道路㈱	263 (262)	245 (243)	283 (280)	長時間の連続規制により工事を実施する集中工事を計22日実施するなど、工事の集約化、集中工事化などに引き続き取り組んだが、構造物や附属物の老朽化に伴う緊急点検や補修工事等の高速道路上の規制が必要な工事が増加したため、目標を達成できなかった。
阪神 高速道路㈱	112 (107)	130 (—)	120 (113)	車線規制工事を集約化して、合同規制化することにより総合的な規制時間を短縮し、また、事前に工事規制訓練を実施することで、現地での規制工事における安全かつ迅速な作業を確保するなどを実施した結果、目標を達成した。
本四 高速道路㈱	85 (—)	85 (—)	86 (—)	道路構造物の経年劣化に伴う補修工事等が年々増加する傾向にあり、車線規制が必要な工事も増加するなか、複数工事での規制の集約等、規制時間の削減に努めた。しかし、笹子トンネルの事故を受けてトンネル内の緊急点検等で規制時間が増えたため目標を達成できなかった。

※「集中工事等を除いた」とは、区間・期間を事前に広報した上で行う集中工事(震災復旧工事を含む)等を除いた交通規制時間

平成24年度(2012年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

会社	死傷事故率(単位:件/億台キロ)			コメント
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	6.7	6.7	6.9	路面湿潤時の事故対策として高機能舗装への推進や、重大事故の防止対策として中分強化型防護柵や簡易分離中央線突破事故対策等の安全対策を実施したものの、東日本大震災の復旧工事による工事渋滞が増加しその渋滞後尾での事故件数増加、厳冬期や終冬期での事故件数増加等により、目標を達成できなかった。
中日本 高速道路㈱	8.4	8.0	8.1	湿潤時の事故対策として高機能舗装の整備等の安全対策及びお客さまへの安全啓発活動を推進した結果、昨年度実績よりも低い死傷事故率となったものの、目標を達成できなかった。
西日本 高速道路㈱	9.1	9.0	8.2	高機能舗装や高輝度レーンマークなどの雨天時の走行改善を含む各種交通安全対策を推進した他、休日特別割引(上限1,000円)や無料化社会実験の終了に伴い交通量が減少したことにより死傷事故件数が減少し、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	19.2	22.0	17.0	事故多発地点や重大事故発生地点の交通安全対策や安全運転啓発活動等を実施したこと等により、施設接触による人身事故が減少したことから目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	25.5	25.5	25.1	更なる交通事故削減を目指して「第2次交通安全対策アクションプログラム」を推進し、カーブ区間での滑り止め舗装といった安全対策を実施するとともに、ドライバー自らが安全運転を実行して頂けるよう働きかけを実施するなど、啓発活動にも取り組んだ結果、目標を達成した。
本四 高速道路㈱	6.0	6.0	6.0	走行性の改善を図るため舗装の改良に努めたこと、道路緊急ダイヤルによる路上落下物や道路の異常等に関する通報の増加により、道路情報板への掲出や、交通管理隊の出動等を迅速かつ的確に行うことが可能となり、これが交通事故予防に寄与し、目標を達成した。

※数値は、1/1～12/31間の年間値

会社	道路構造物保全率(舗装)(単位:%)			コメント
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	92	97	96	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査や現地調査等に基づき、約1,280km・車線の補修を行い保全率の向上を図ったが、北海道や東北地区で発生した凍上による舗装の損傷が増加したため、目標は達成できなかった。
中日本 高速道路㈱	95	95	95	路面のわだち掘れやひび割れ等を調査し、約250km・車線の補修を行った結果、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	96	96	92	損傷状況に応じた舗装補修を約210km・車線実施したが、路面のわだち掘れやひび割れ等の調査・点検により、新たに補修が必要な箇所が判明したため、目標を達成できなかった。
首都 高速道路㈱	97	97	97	路面のわだち掘れやひび割れ等を点検により把握し、損傷状況に応じた舗装補修を約43km・車線実施した結果、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	92	92	88	路面のわだち掘れやひび割れ等を点検により把握し、損傷状況に応じた車線規制工事による舗装補修や、大規模補修工事(通行止め)による舗装補修約68km・車線を実施したが、湾岸線等における劣化進行が想定以上に進んでいた結果、目標を達成できなかった。
本四 高速道路㈱	90	90	91	路面のわだち掘れやひび割れ等を調査し、補修が必要な箇所として約33km・車線の舗装補修を実施し、目標を達成した。

平成24年度(2012年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

会社	指標 道路構造物保全率(橋梁)(単位:%)			コメント
	早期に補修を必要としない健全な橋梁数の割合			
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	88	90	89	点検結果等により、平成24年度に補修が必要な箇所として105橋の補修を計画していたが、入札不調等の影響により85橋の補修しかできず、目標は達成できなかった。
中日本 高速道路㈱	88	88	90	橋梁の健全度を調査し、年度計画に基づき43橋の補修を実施した結果、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	91	91	92	点検結果等により、劣化が著しい橋梁床版部の取替等の大規模補修を含む40橋の橋梁補修を実施し、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	82	83	83	日常的な定期点検により構造物の現状を把握し、840径間について損傷状況に応じた補修を実施した結果、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	87	88	88	点検結果を基に計画的に補修工事を実施した結果、早期に補修が必要な橋梁のうち228径間の橋梁補修を実施し、目標を達成した。
本四 高速道路㈱	83	84	84	橋梁の状態を的確に把握するため橋梁点検を計画的に行うとともに、点検結果に基づき補修が必要な橋梁のうち31橋の補修を計画的に実施したことから、目標を達成した。

会社	指標 橋脚補強完了率(単位:%)			コメント
	古い基準を適用した橋梁*で、耐震補強を必要としている橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合			
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	99.8	100	100	当初予定していた要対策箇所9基の耐震補強工事を完了し、橋脚補強完了率は100%となり、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	100	100	100	平成22年度で完了済み。
西日本 高速道路㈱	97	99	99	平成24年度は132基の耐震補強を完了し、目標を達成した。引続き確実な事業進捗を図り、平成25年度中の100%完了を目指す。
首都 高速道路㈱	100	100	100	平成10年度で完了済み。
阪神 高速道路㈱	100	100	100	平成23年度で完了済み。
本四 高速道路㈱	100	100	100	平成19年度で完了済み。

※対象橋脚は、「道路、新幹線の橋梁の耐震補強の推進について(H17.3国土交通省)」に基づき、平成7年兵庫県南部地震の被災を踏まえ、昭和55年より古い基準等で設計した橋梁のうち、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋脚である。

会社	指標 総合顧客満足度(単位:ポイント)			コメント
	CS調査等で把握するお客様の満足度(5段階評価)			
	23年度実績	24年度計画	24年度実績	
東日本 高速道路㈱	3.6	3.6	3.6	東日本大震災の影響による路面の損傷や、節電の影響があったものの、トイレ清掃レベルの品質向上等CS値の向上に努め、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	3.6	3.6	3.6	日々の安全・安心対策に加え、交通混雑期における情報提供の充実や休憩施設における特設お手洗いの設置・お手洗い清掃の強化、駐車場誘導員の配置等の取り組みを行った結果、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	3.6	3.6	3.6	日々の安全安心の取り組みに加え、情報提供の強化(お客様ニーズに応じたアイハイウェイのコンテンツ充実等の利便性向上)、休憩施設混雑時の対応(臨時トイレの設置、清掃強化、駐車場誘導員の配置)等、各種のお客様満足向上の取り組みにより、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	3.4	3.4	3.4	中央環状線などの道路ネットワーク整備が進捗してきたことに加え、お客様の声に基づいた各種改善を実施してきたことの相乗効果によりお客様の満足度が向上し、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	3.6	3.6	3.5	距離料金への移行による影響等もあり、「料金設定」、「ETC割引制度」等における満足度が低下し、総合満足度は目標を0.1ポイント下回った。一方、「料金所スタッフの対応」、「期間限定で販売する企画割引」などにおける満足度は上昇しており、今後も、お客さまの声を受けての改善への取り組み等により、引き続きCS向上に努めていく。
本四 高速道路㈱	3.7	3.7	3.9	休日終日割引として50%割引等を継続していることにより料金・割引が評価を上げたほか、風速表示板を更新するなどの異常気象時の情報提供の充実、レストランの改善、各種のイベント継続等が評価され、目標を達成した。

道路資産保有及び貸付状況（総括表）

（平成25年3月31日時点）

（単位：キロメートル）

	合 計									
	東日本高速道路㈱	中日本高速道路㈱	西日本高速道路㈱	首都高速道路㈱	阪神高速道路㈱		本州四国連絡高速道路㈱			
					阪神圏	京都圏				
保有及び貸付延長	10,014	3,769	2,018	312	263	10				173
うち供用区間延長	9,706	3,676	1,917	301	245	10				173
うち新設区間延長	(826) 307	(273) 93	(327) 101	(28) 11	(18) 18	-				-
(内訳)										
全国路線網										
高速自動車国道	9,204	3,769	2,008	-	-	-				-
高速自動車国道以外	8,251 953	3,360 409	1,829 179	3,427 3,062 365	3,469	-				-
うち供用区間延長	8,926	3,676	1,907	-	-	-				-
高速自動車国道	8,010	3,303	1,728	-	-	-				-
高速自動車国道以外	916	373	179	-	364	-				-
うち新設区間延長	(780) 279	(273) 93	(327) 101	(180) 84	(180) 84	-				-
高速自動車国道	(538) 241	(140) 57	(228) 101	-	(170) 83	-				-
高速自動車国道以外	(241) 38	(133) 36	(99) 0	-	(10) 1	-				-
地域路線網	758	-	-	312	263	10				173
うち供用区間延長	729	-	-	301	245	10				173
うち新設区間延長	(47) 29	-	-	(28) 11	(18) 18	-				-
一の路線	52	-	10	-	-	-				-
うち供用区間延長	52	-	10	-	-	-				-
うち新設区間延長	-	-	-	-	-	-				-

（注）延長の数値は、IC間を最小単位として、機構の保有資産が含まれている区間を全て合計したものの延長です。但し、「うち新設区間延長」の括弧内の数値は、既に機構が資産を保有している区間を含む、協定に基づき高速道路会社が新設を行う区間の総延長です。

（注）端数処理の関係上、計が合わない場合があります。